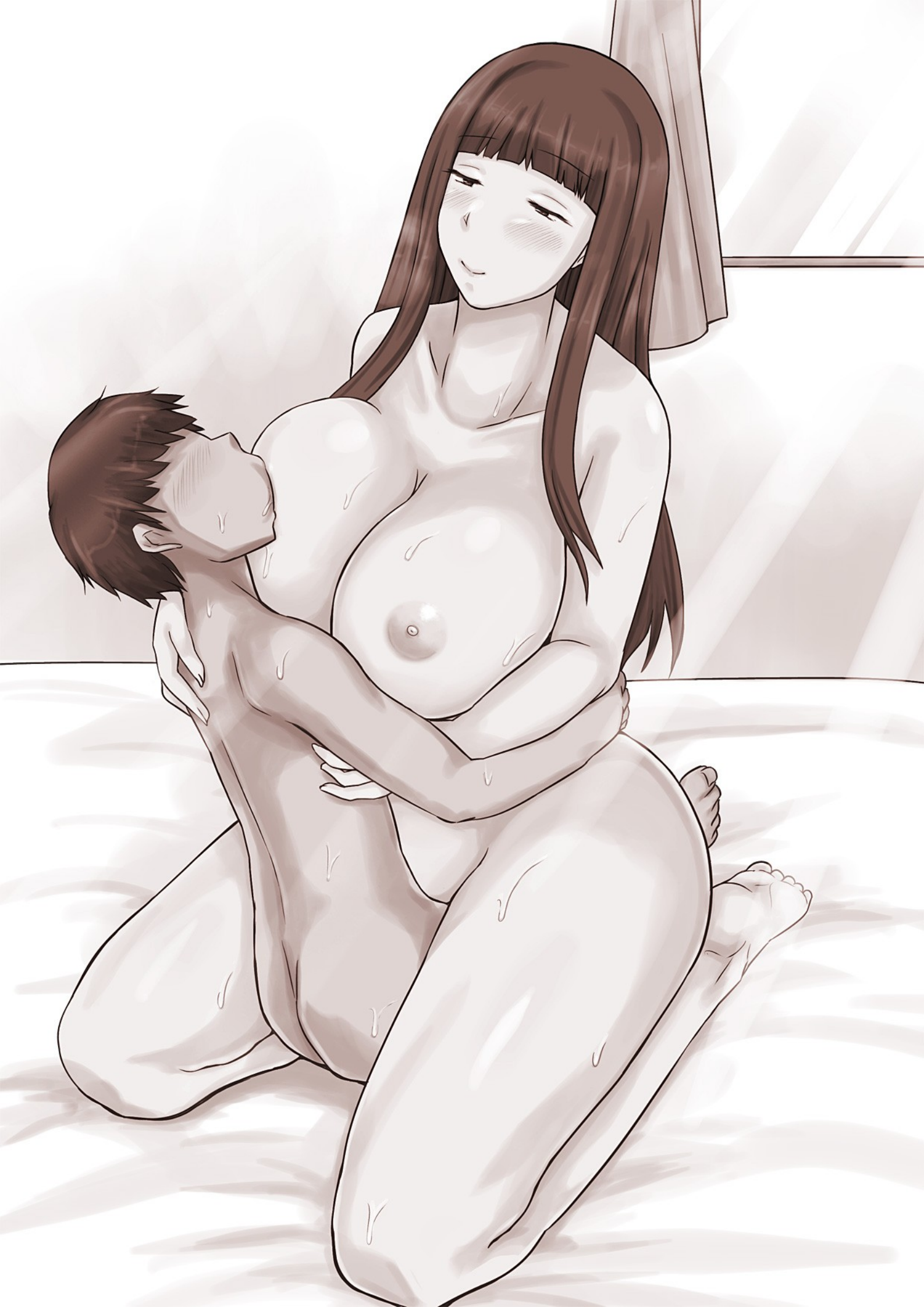




溺愛ママとボク



ボクく〜ん ♡

ママのおっぱい
美味しい
でちゅかあ〜？

ちゅほっ

ちゅ
っ

いい子でちゅね〜

ボクの母は溺愛だ

できあい

溺愛ママとボク



母：沙織（さおり）

夫、孝之とは同級生。
孝之と結婚後、息子を出産。
母性が強く、息子に過剰に愛を注ぐ。
そのため夫とトラブルに。



夫：孝之（たかゆき）

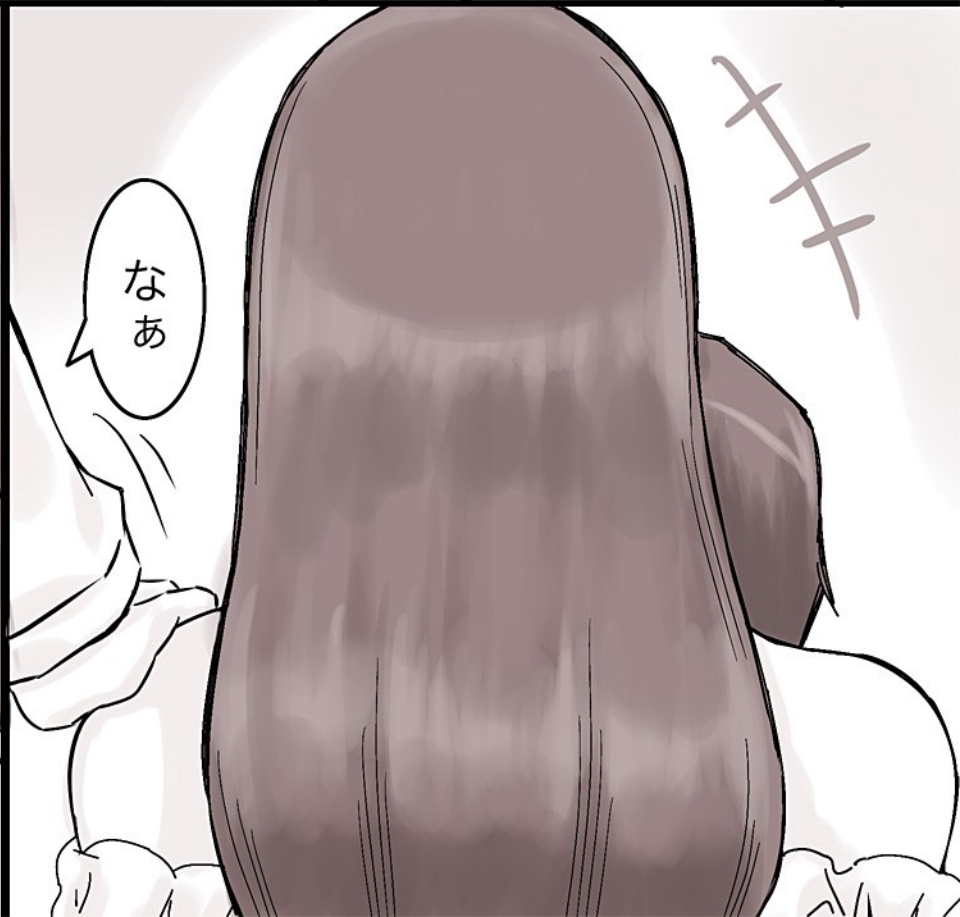
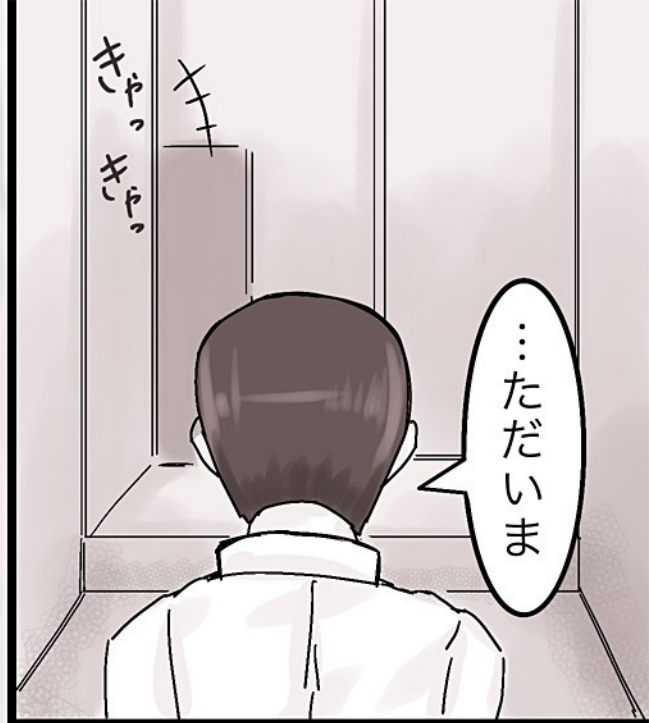
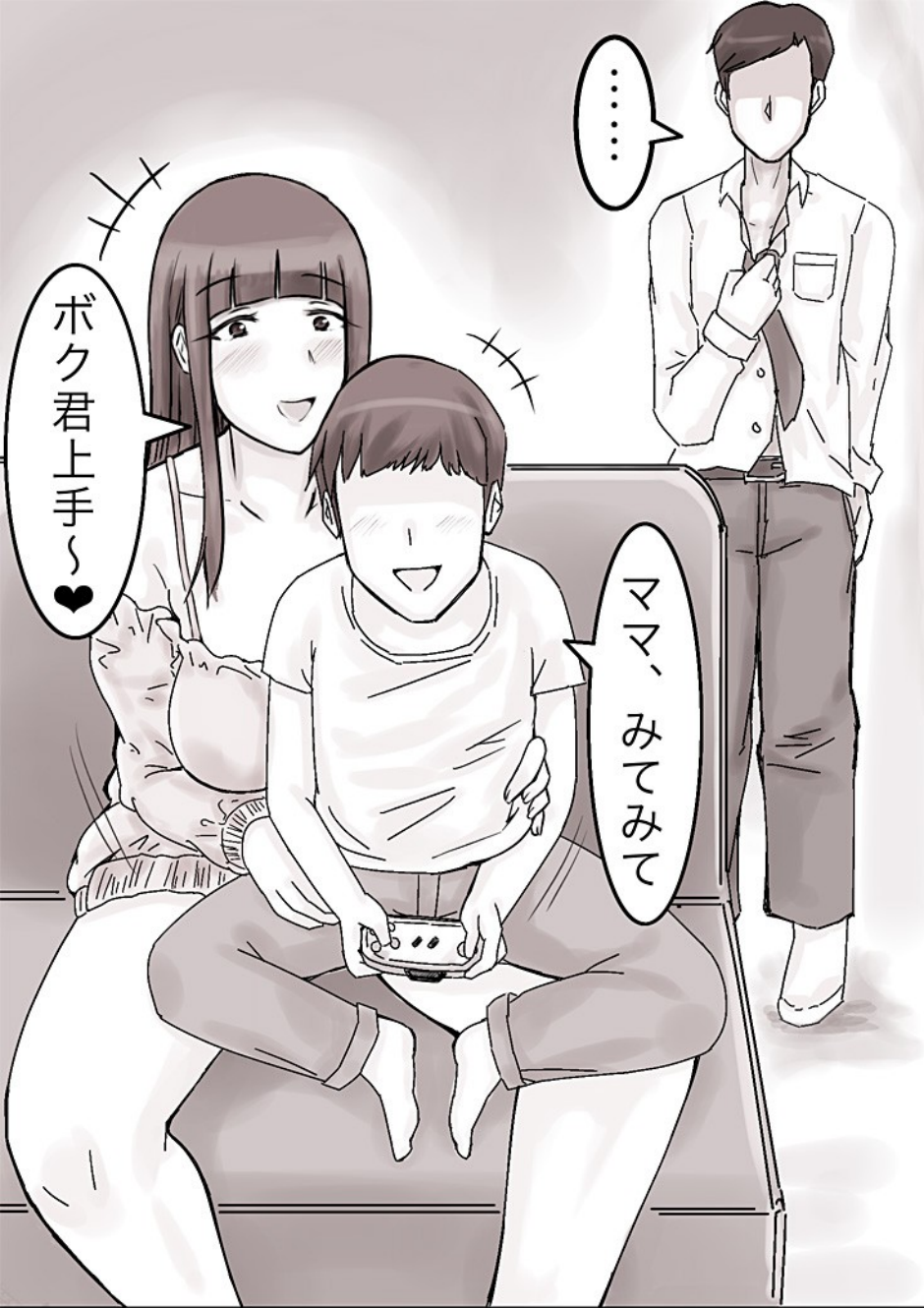
学生時代に沙織に一目惚れし告白。
孝之の熱烈アピールで付き合うことに。
その後結婚。息子が産まれる。
家族を養うため、仕事を頑張るのだが、
沙織の息子への接し方に悩まされる。



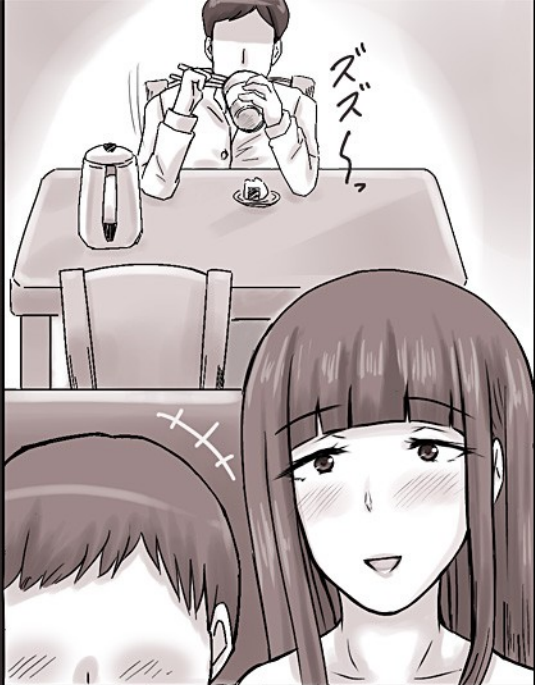
息子

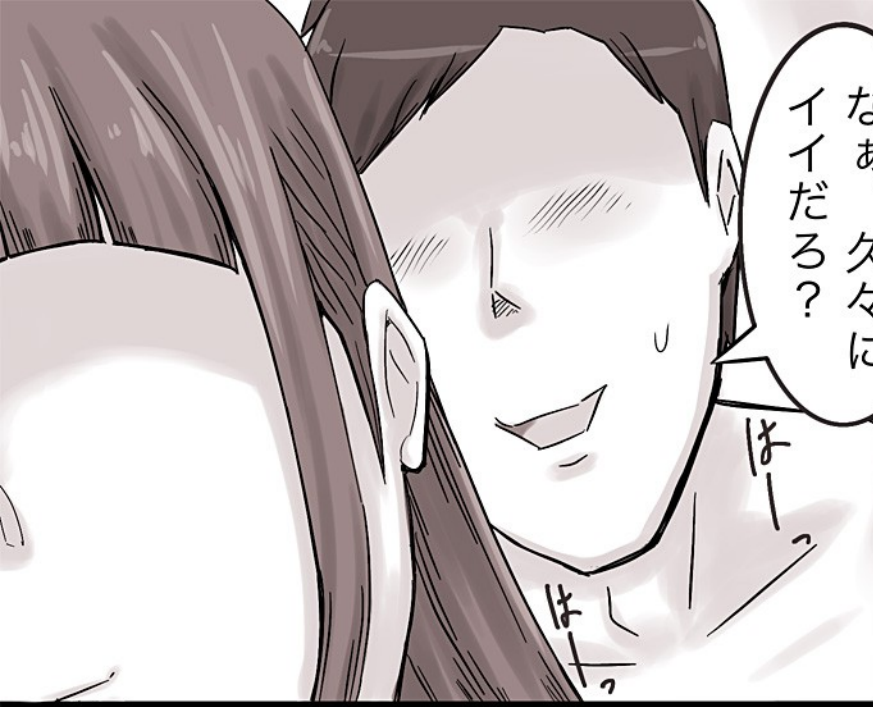
沙織と孝之の息子。
沙織の愛情をたっぷり注がれて育つ。

夫はサラリーマン、沙織は専業主婦のため、
母と過ごす時間が多くなり、沙織に懐く。
離婚後も、沙織の方へ。

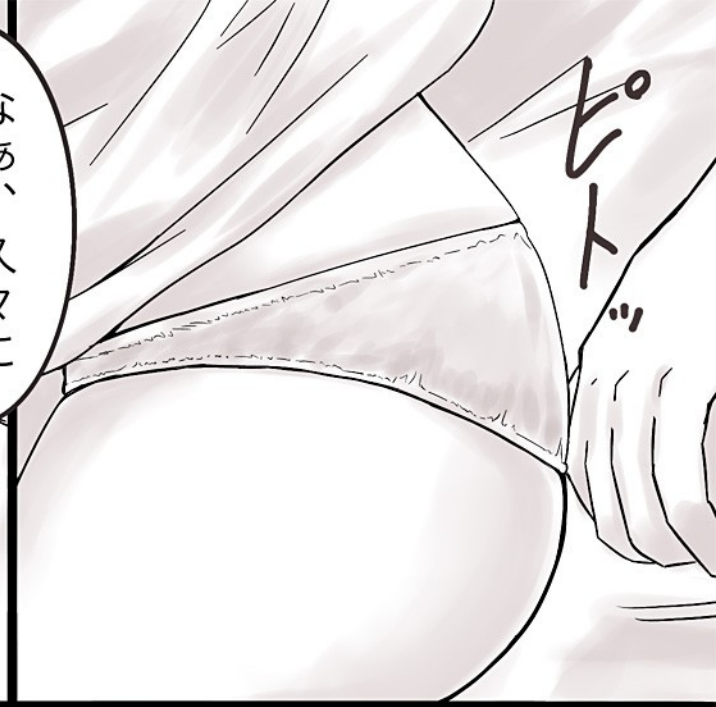


その夜





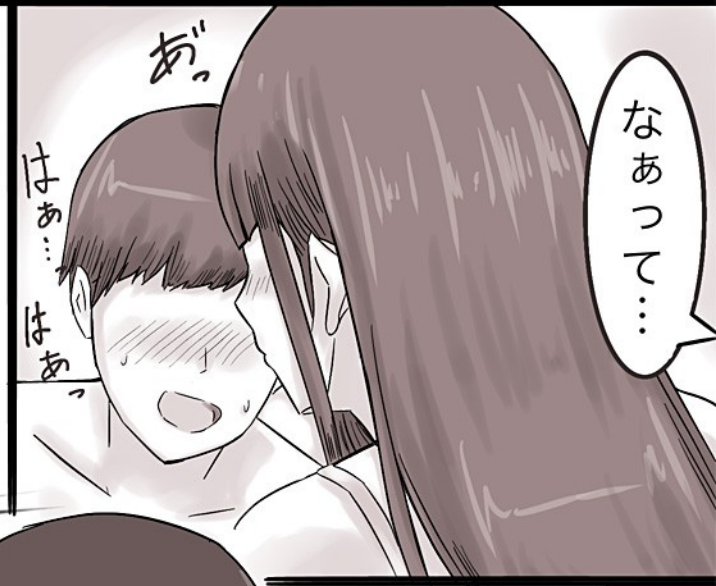
なあ、久々に
イイだろ？



ピトッ



ボク君気持ちいい？



なあって…

はあ…はあ



? …まさか

何やってんだ!

バツ

お前、何やってるのか
わかってるのか!?

なあくに? ア・ナ・タ

とろろ
ん

おいひっ♡

あゆみっ

おい、やめるッ!

沙織...

ゴクッ

もうイイ…離婚しよう

沙織は少し母性が強いだけ
だったのかもしれない。

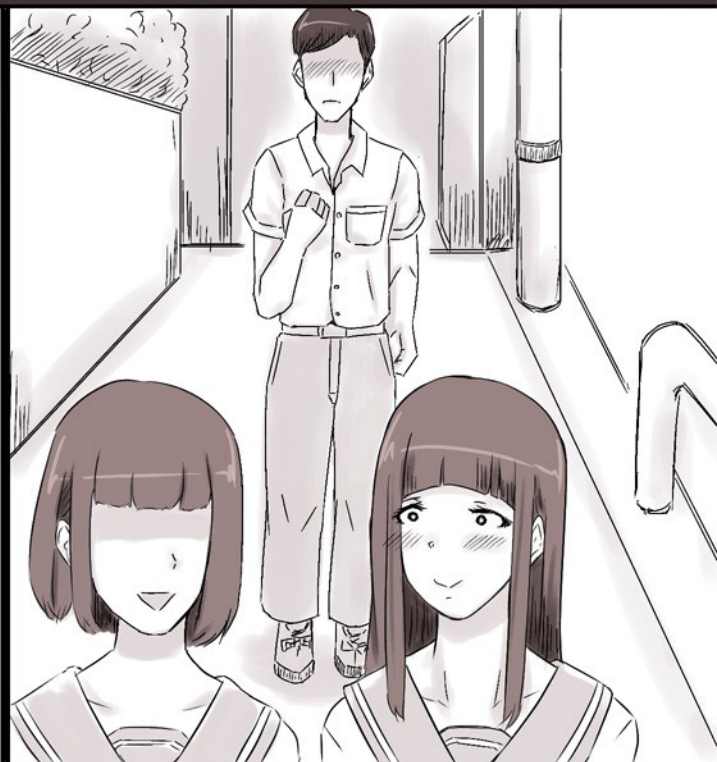
だが沙織はいつも息子に
べったりだった。

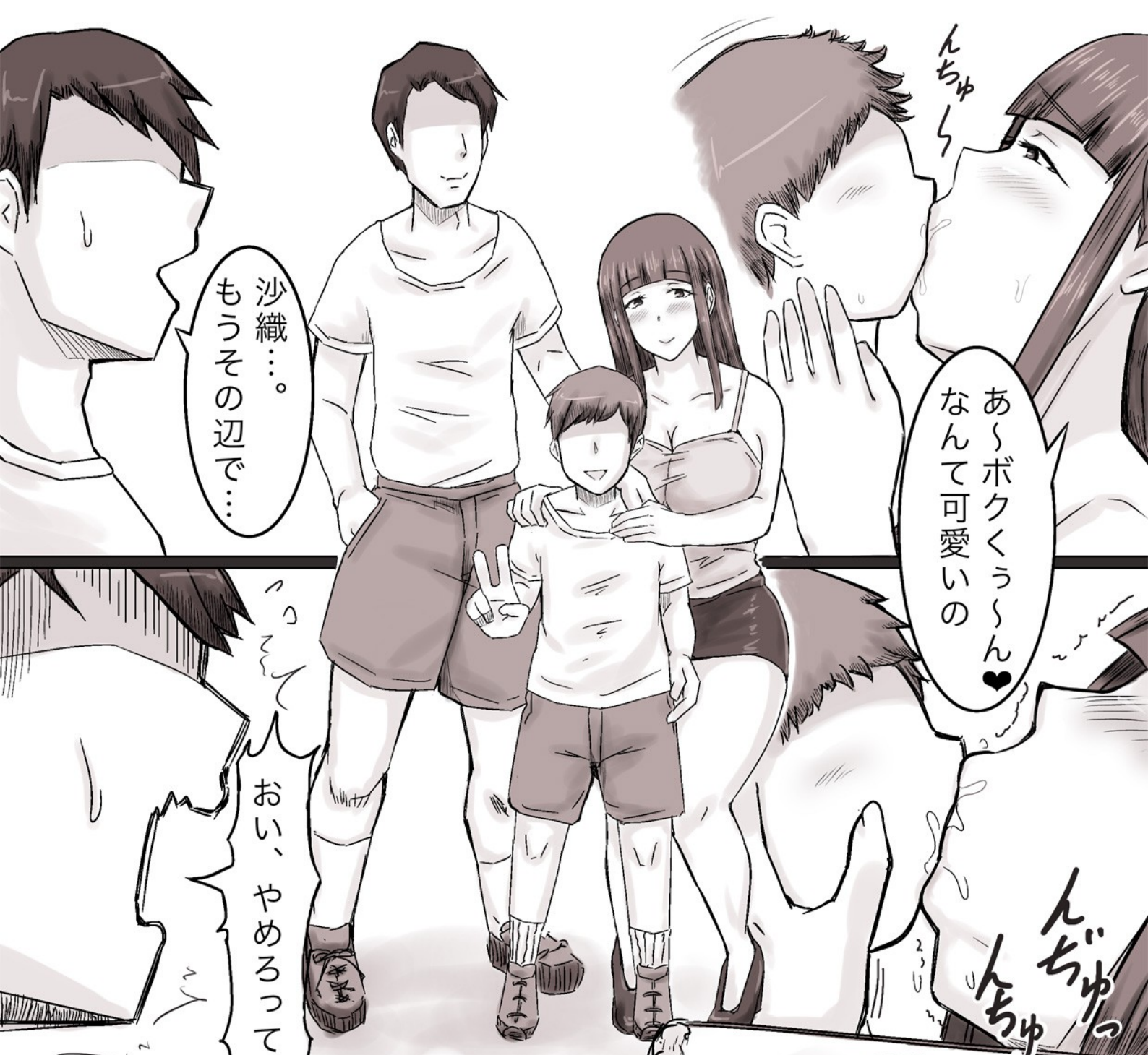
俺は次第にスナックの女に
愚痴るようになった。

それがバレたのか、沙織の
愛は歪んでいった。

俺のせいでもある。
だから我慢してきた。

だけど、もう限界だ。





沙織…。
もうその辺で…

んちゅんちゅん
あゝボクくうくん
なんて可愛いの♡

おい、やめろって!!

んちゅんちゅん



俺と沙織は離婚。
当然のように息子は
沙織が引き取った。
それから月日は流れた。



おかえりボクくん ♡

たぶっ

たぶっ

タタタタッ

ああ、私のボクくん ♡



ただいま

ガチャッ

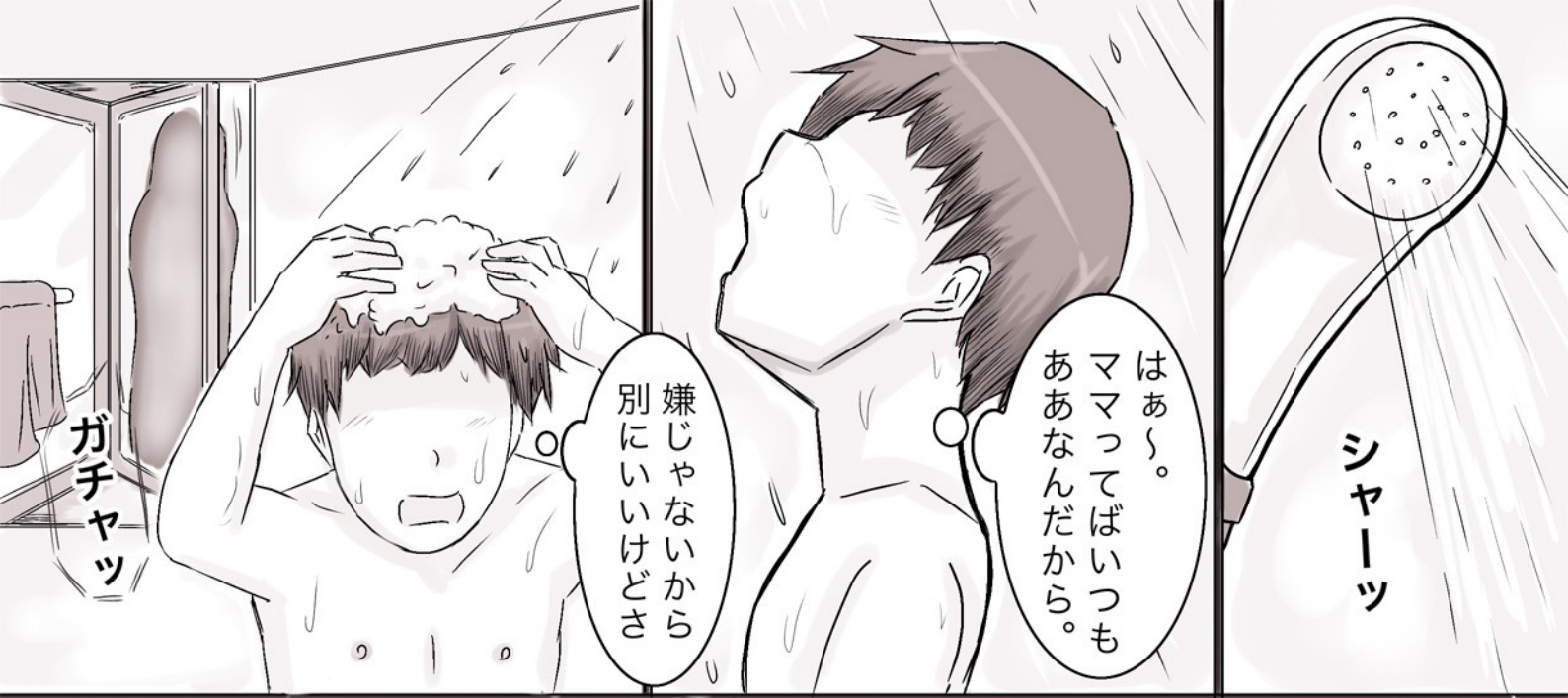


わっ ママ

むぎゅ



トーン

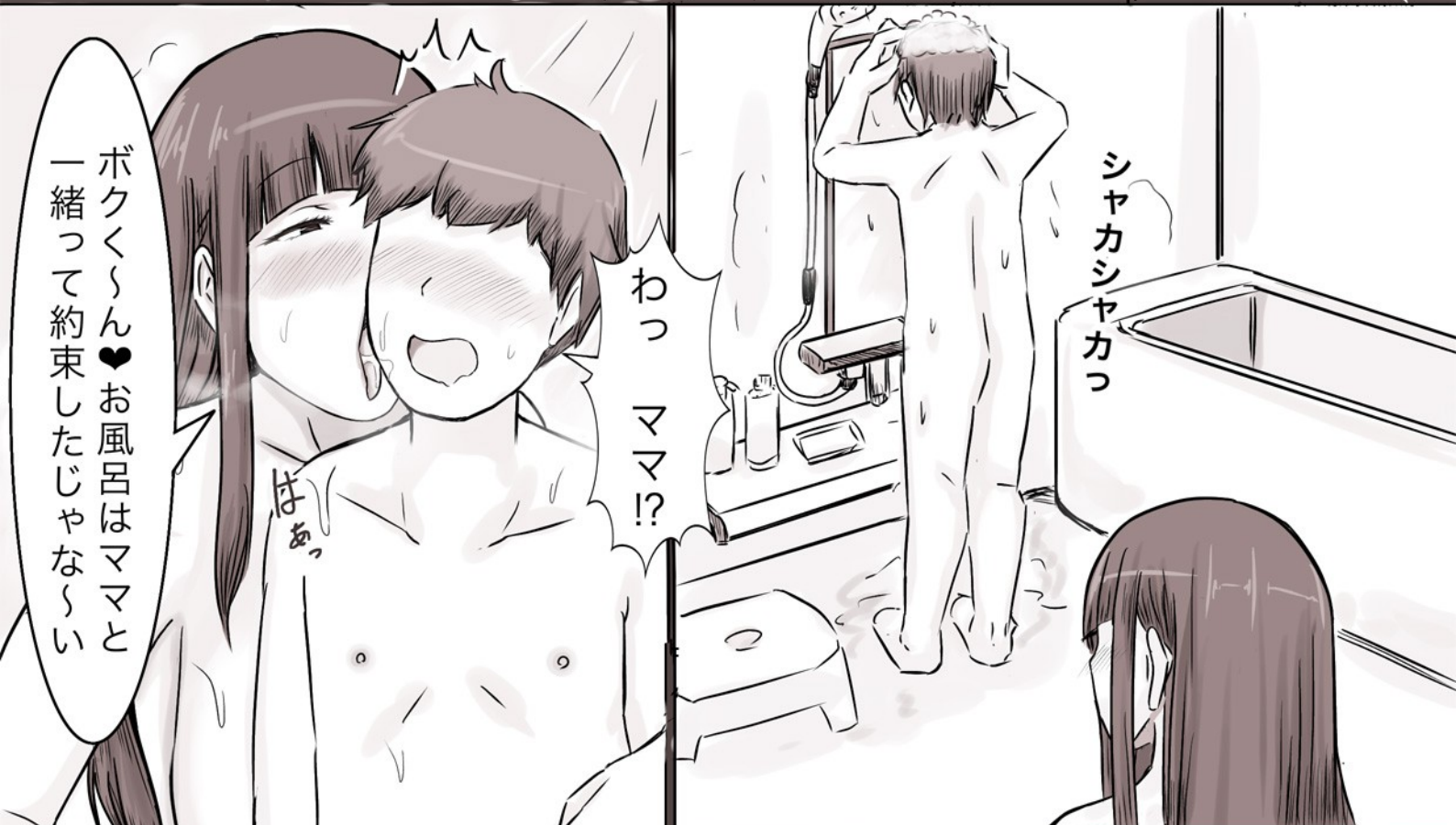


ガチャツ

嫌じゃないから別にいいけどさ

はあ。ママってばいつもあんなんだから。

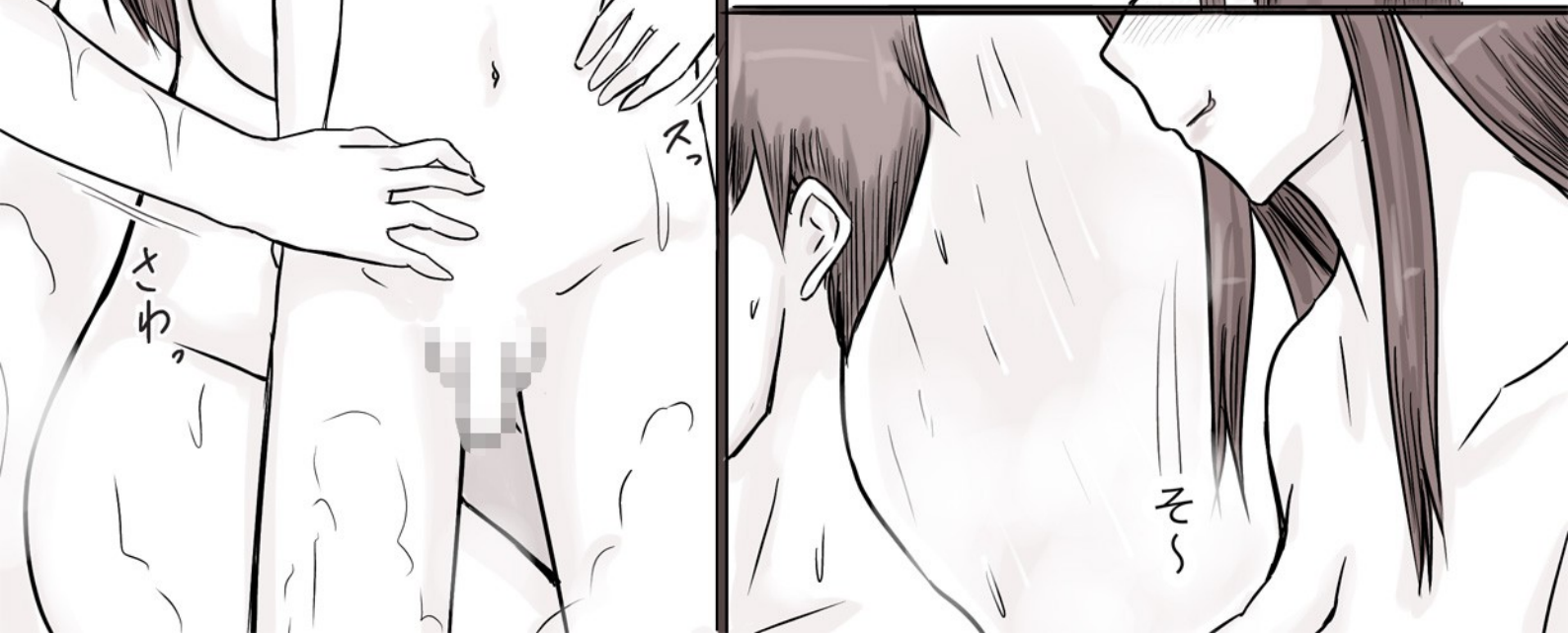
シャーツ



ボクくん♥お風呂はママと一緒にって約束したじゃなくい

わっ ママ!?

シャカシャカッ



さゆ

そ



ボクもう自分で洗え…あつ



ほら、ママが
体洗ってあげる♡



はうっ

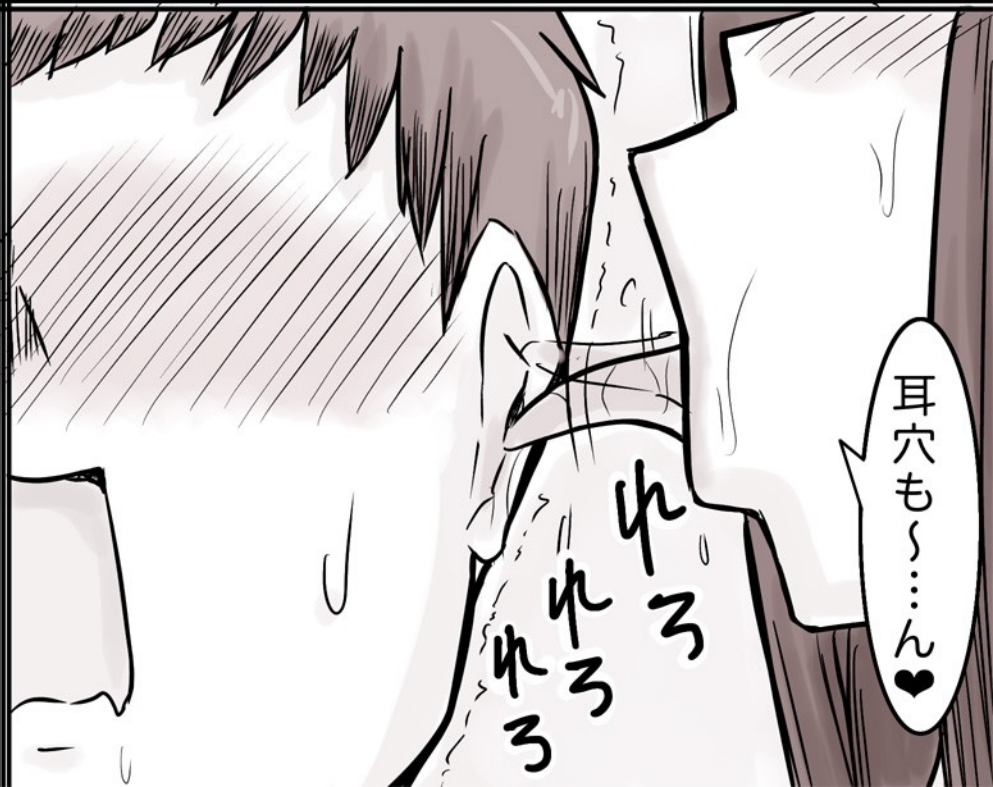


乳首もキレイに
しましよーね♡



まあ♡

ああつ
ダメエ



耳穴も…ん♡



ほら、おちんちんの中も
キレイにしましょね♥

うん…ママ…あッ
ああッ

ズリゅ
ズリゅ

ズリゅっ

あッダメッ

ヌホホ

ズボ

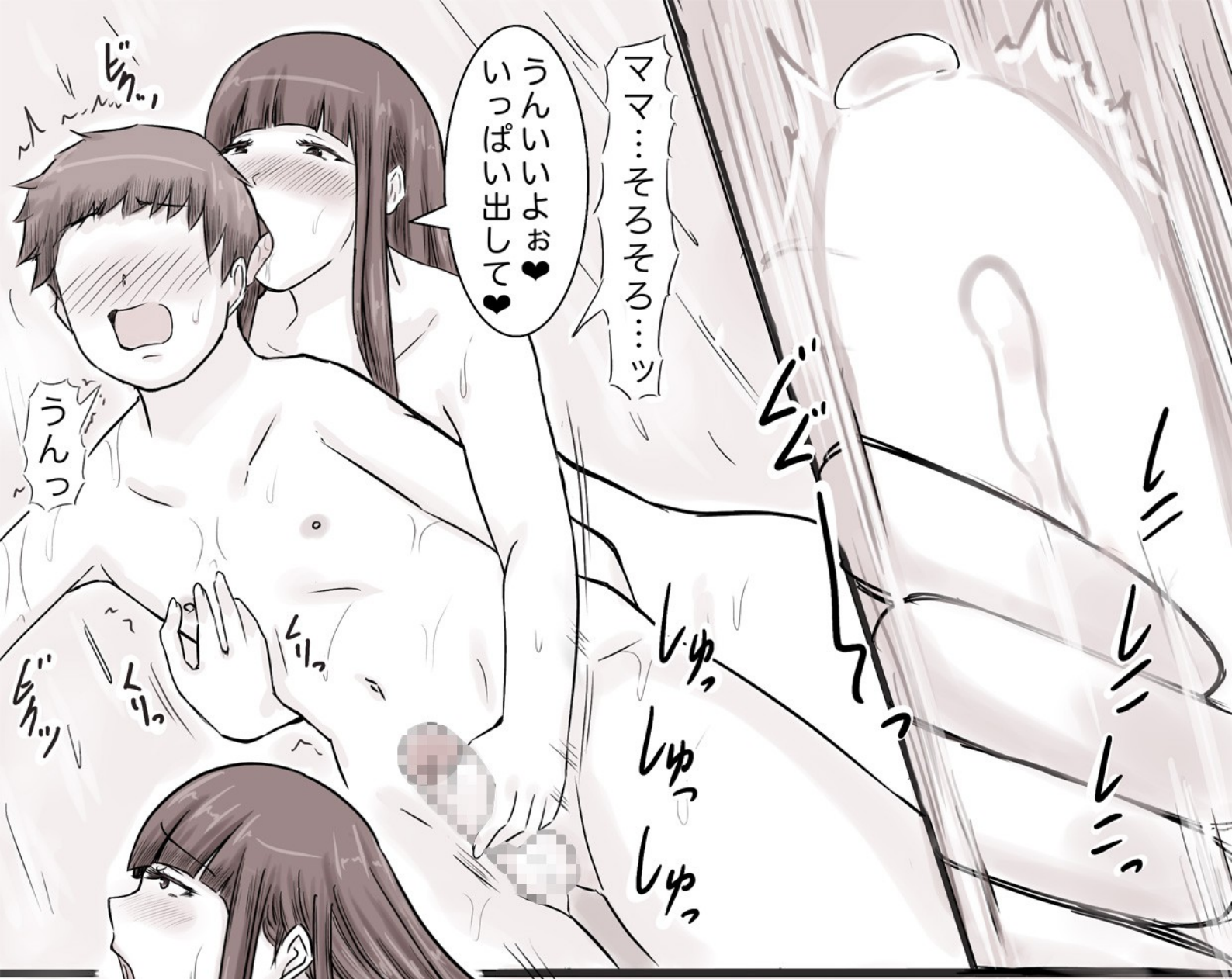
ああッ!!

ズリゅ
ズリゅ

んぐああッ!!

ズリゅッ

ガクガク



うんいよいよ♥
いっぱい出っっ♥

ママ…そろそろ…ッ

うんっ

ビクッ

クワッ

クワッ

しゅっ
しゅっ
しゅっ

しゅっ
しゅっ
しゅっ



ほらいケっ♥出せ出せッ
ママのために射精してッ♥

ママ出るッ

ゴブゴブゴブ射精するよ
ママに見せてッ

出るッ!!

あッ

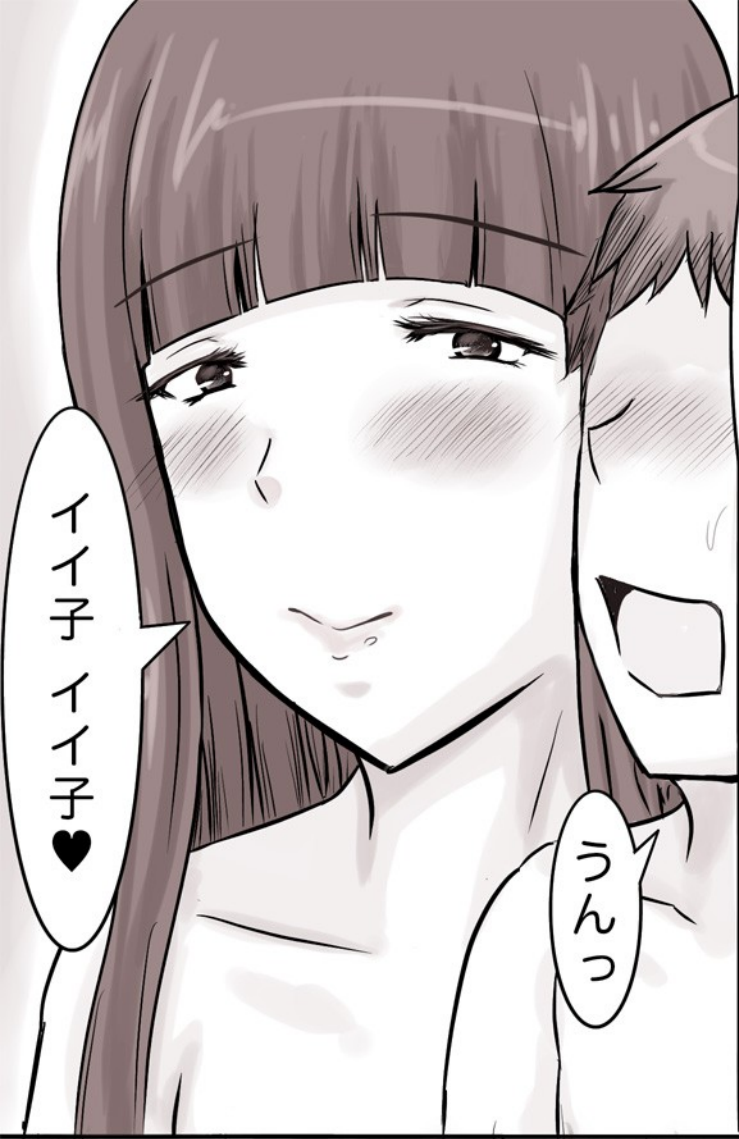
あッ

スッ
スッ
スッ

ビクッ
ビクッ

しゅっ
しゅっ

しゅっ
しゅっ



いい子 いい子 ♡

うんっ



ママのためにいっぱい出してくれたんだもんね？

いっぱい出たね がんばったね ♡

はーっ

うんっ...



がんばって射精して えらいえらい

これからママに いっぱいピュッピュッしてね ♡

えへへ

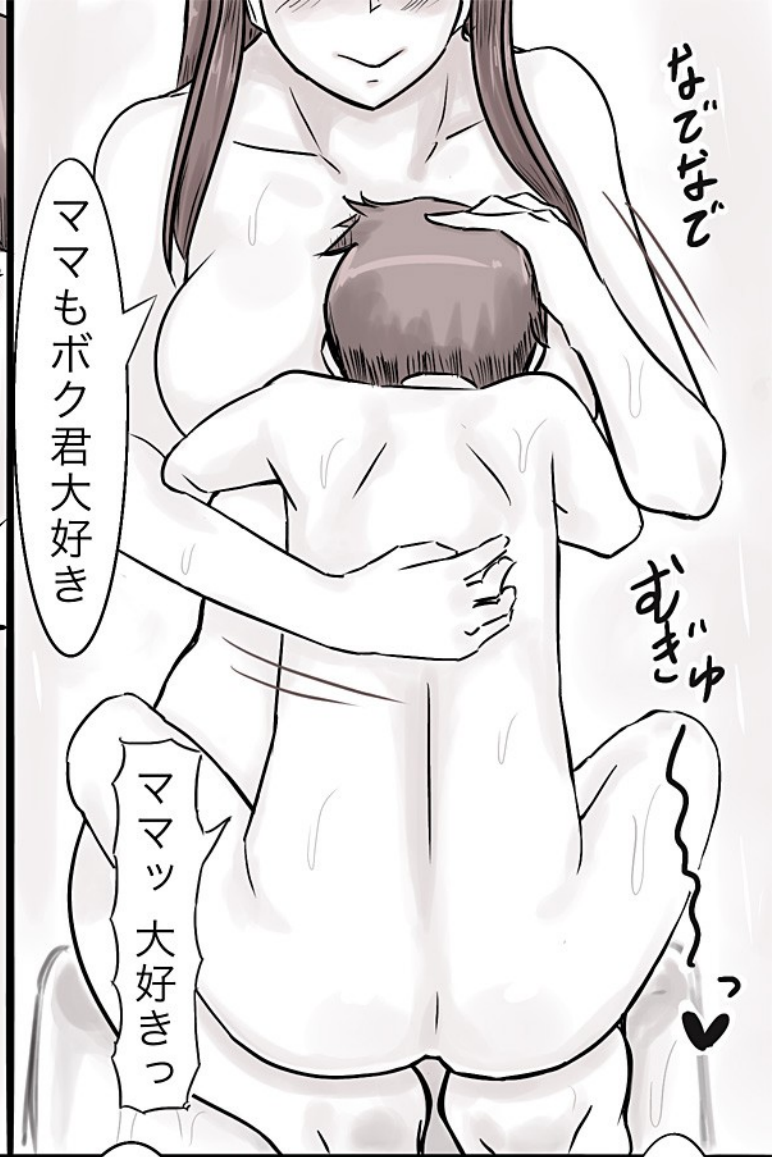
ほんと いい子ね

うんママ



あら

あ…



ちゅっちゅっ

むきゅ

ママもボク君大好き

ママツ大好きっ



ビクン

ビクン



ビクン

ビクン



まあまあ
今日はすごい元気ねっ

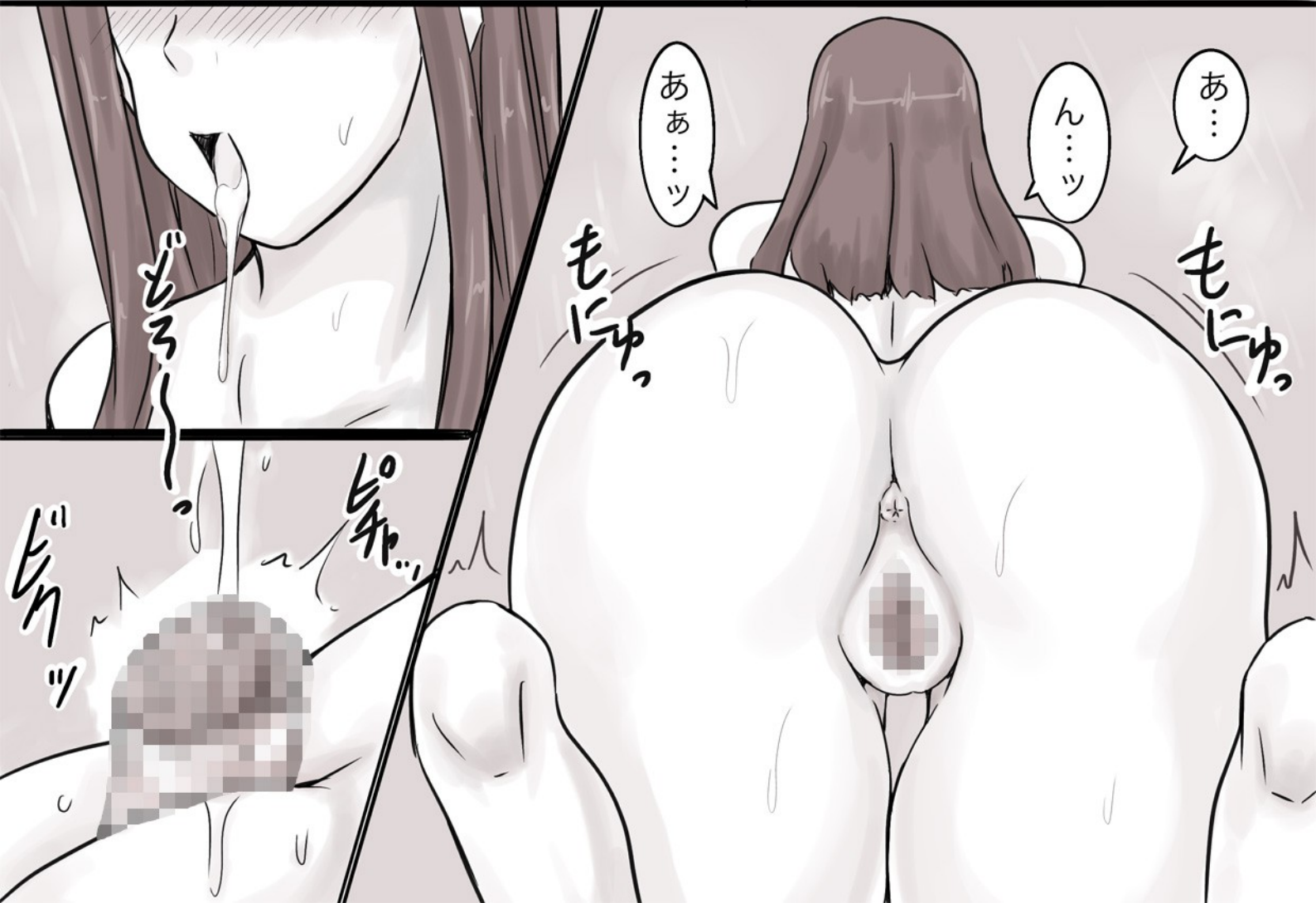
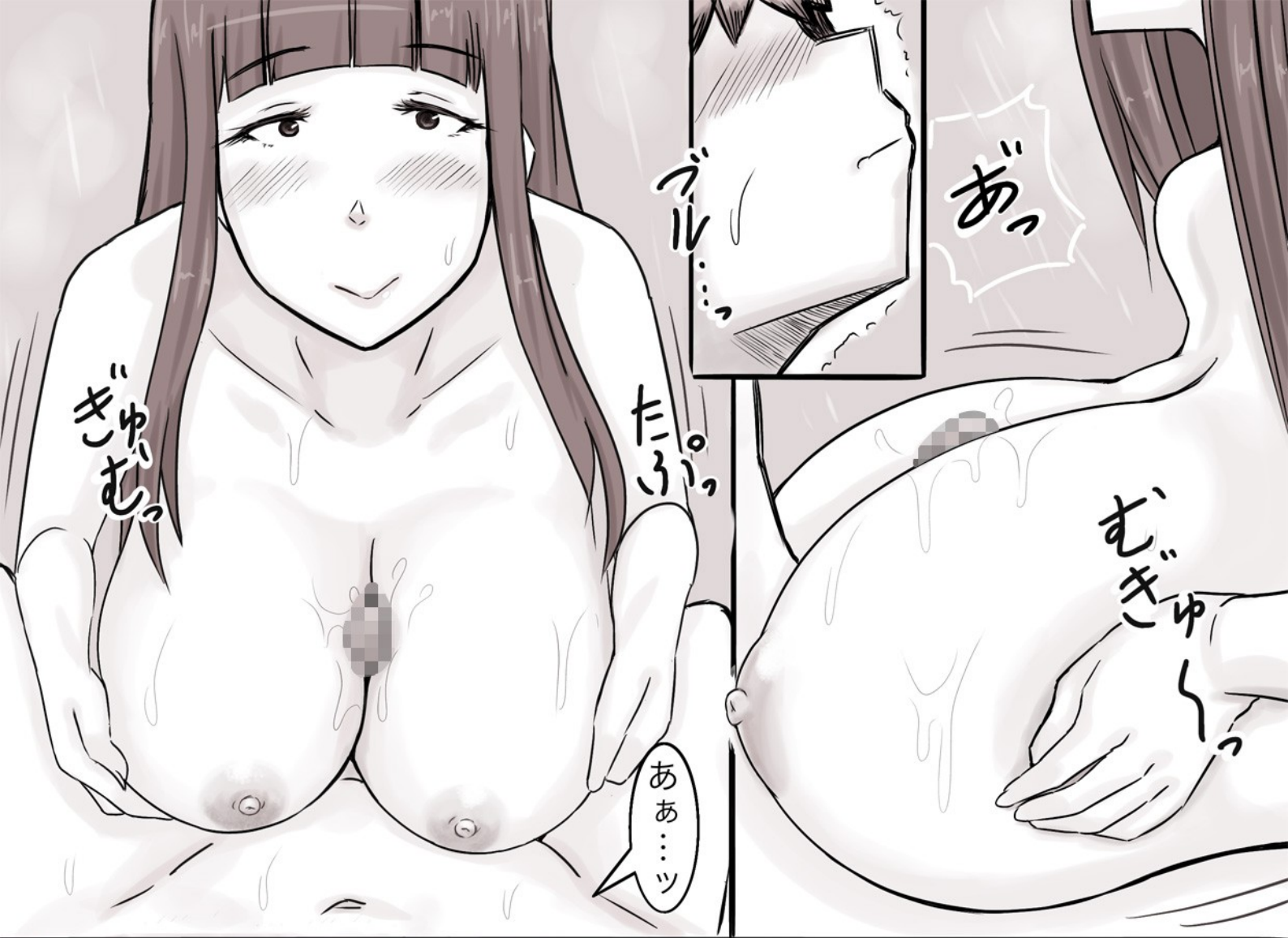
おっぱいで
又いちやおっか

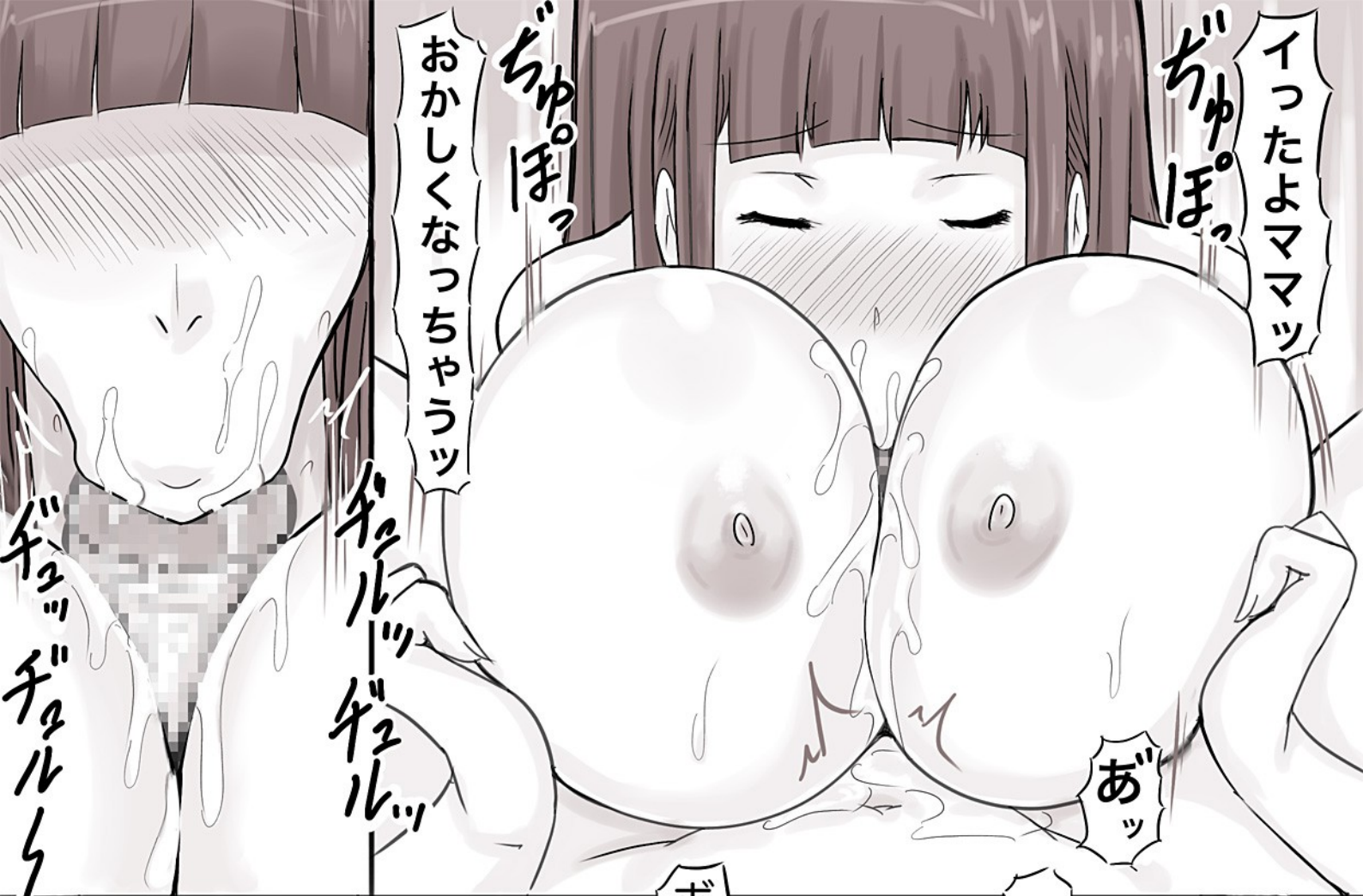
あっ

ビクン

しゅっ

しゅっ





いったよママッ

ぢゅぽっ

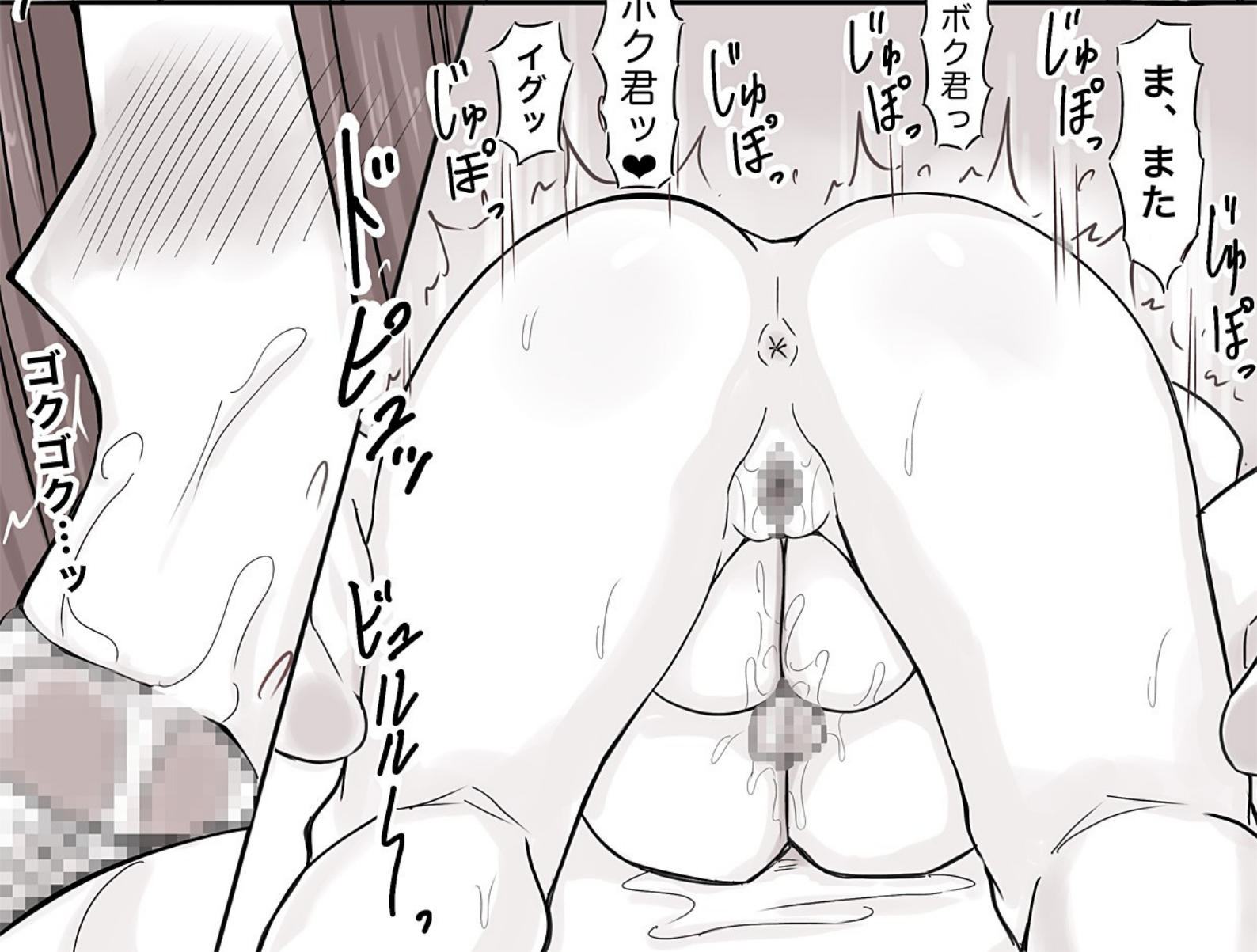
ぢゅぽっ

おかしくなっちやうッ

あッ

ギョルッ
ギョルッ
ギョルッ

ギョッ
ギョルッ



ぢゅぽっ

ま、また

ぢゅぽっ

ボク君っ

ぢゅぽっ

ぢゅぽっ

ボク君ッ♥

イクッ

ぢゅぽっ

ト
ピ
ツッ

ビョルルッ

ゴクゴク...ッ

ボク君の精液
おいしし...♥

はーっ

はーっ

あッ

ちゅぽんっ

ホロホロ...

てんてん...

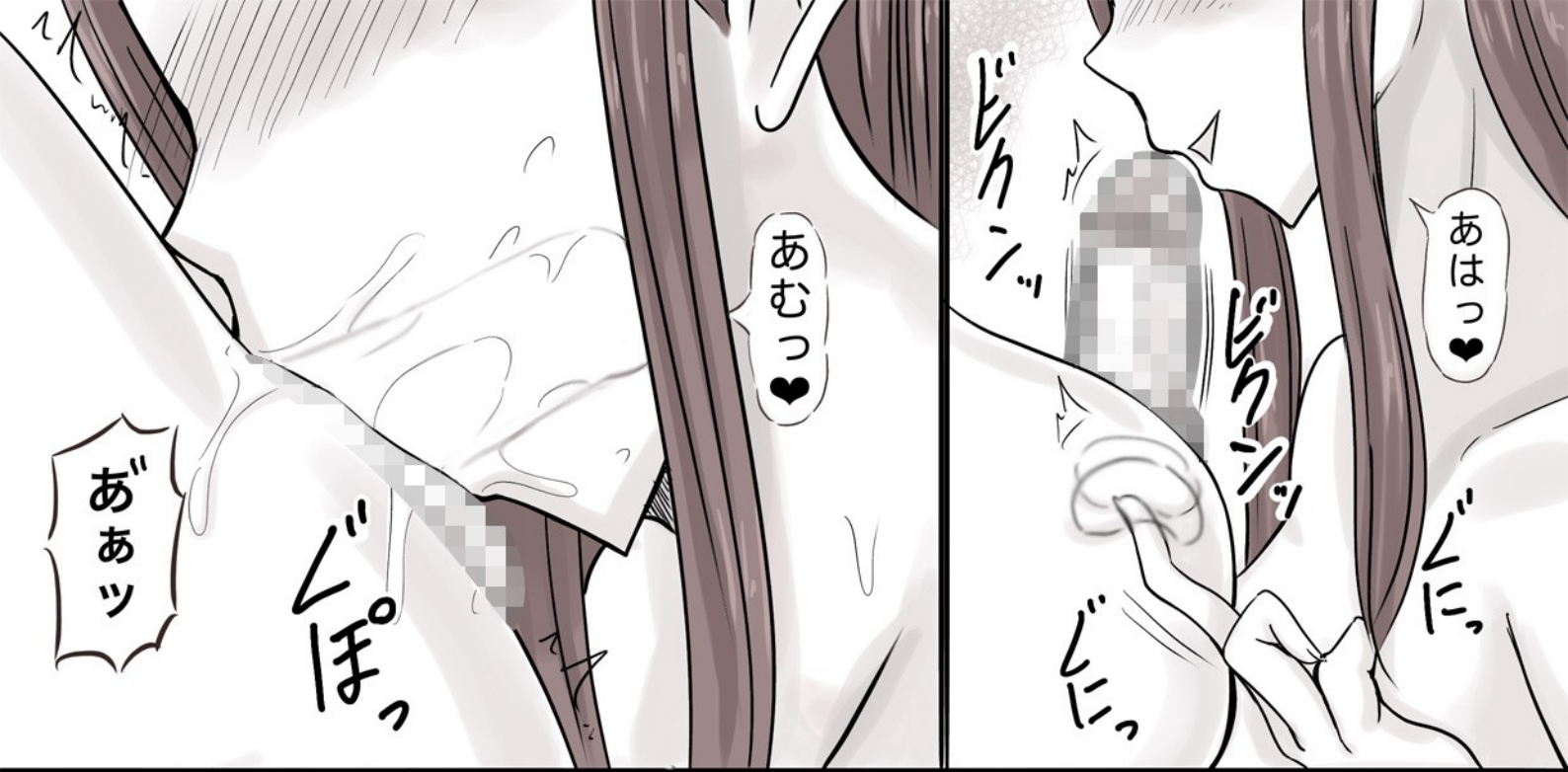
ぜーっ

ぜーっ

ぜーっ

がく

がく



あぁッ

ぐんっ

あむっ♡

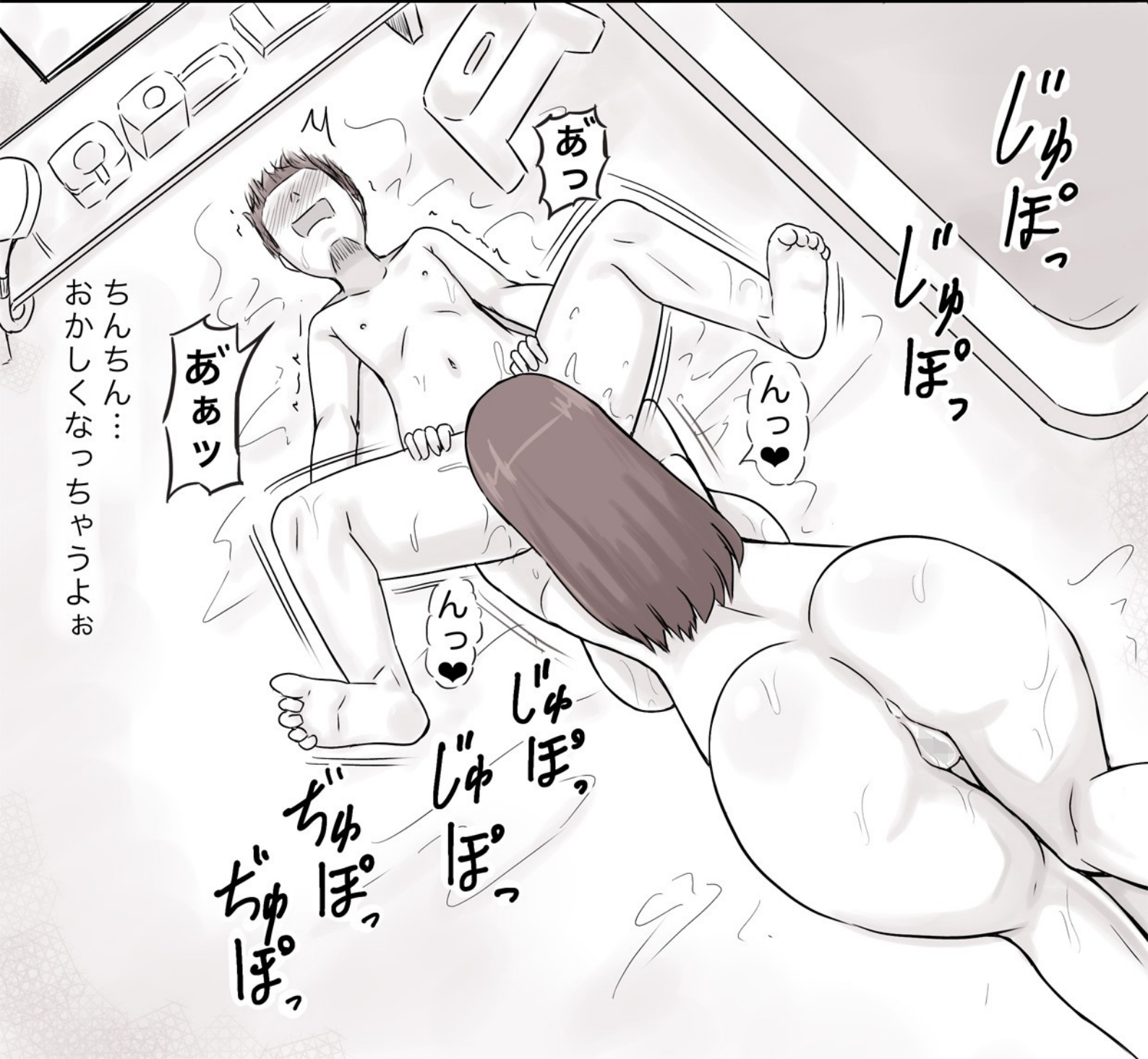
びんっ

あはっ♡

びんっ

びんっ

ぐんっ



あぁッ

じゅぽっ

じゅぽっ

あぁッ

ちんちん...
おかしくなっちゃうよお

んっ♡

んっ♡

じゅぽっ

じゅぽっ

ぢゅぽっ

ぢゅぽっ



しゅぽっ
んんっ

しゅぽっ
んっ

ああッ

あッ

ズキョッ

ズキョッ

ズキョッ

ズキョッ



ちゅぽっ

イグウウッ!!

イクッ

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ



ボク君の精液が口の中に
広がるわあゝあゝ幸せ…♡

おいひっ♡

はーっ

んっ♡

はーっ

ちゅぽんっ

あっ



うん、
ちよっと休もっか♡

んっ♡



ママ
ボクもう限界ゝ

ぜーっ

バタッ



あ、パパ!

だよ

普通自分の息子に
そんなことしないよ!

え〜!? それ絶対おかしいよ!



あれ、ここ何処?



ほわゆるん



ぎゅっ



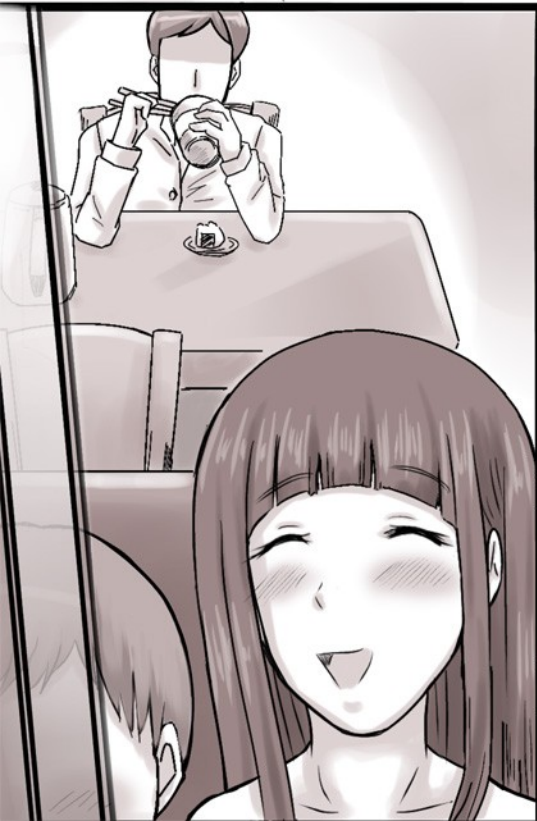
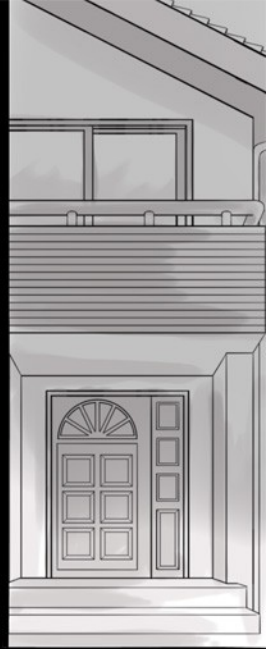
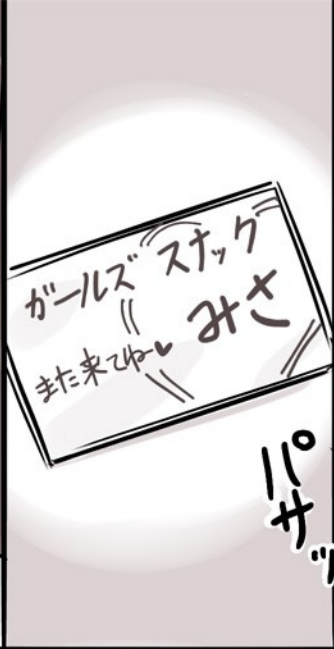
誰だろう。あのお姉さん

じゃ、そろそろ帰るよ

うん、何かあったらまた教えてね
相談に乗るから ♡



またね ♡



沙織はそれから少しずつ俺に冷たくなっていった

…君

…ボク君

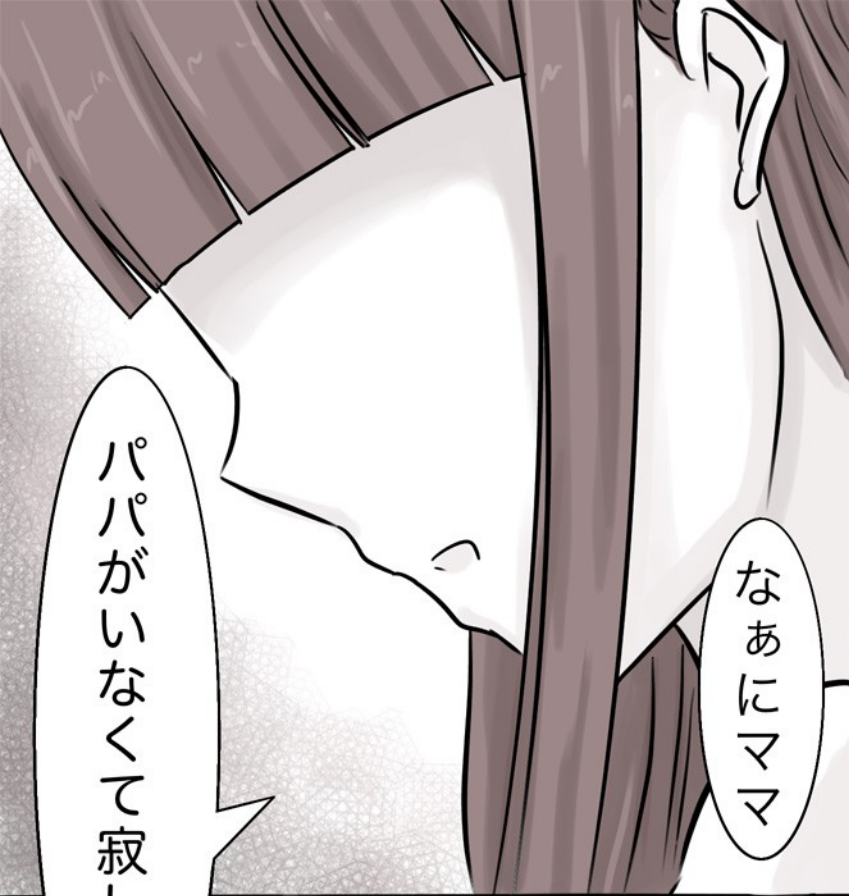
あれ、ボク…

気がついた？

あれ、ここ…
ママの部屋？

うんうん

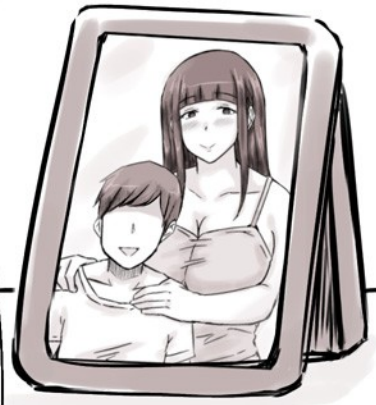
ママ



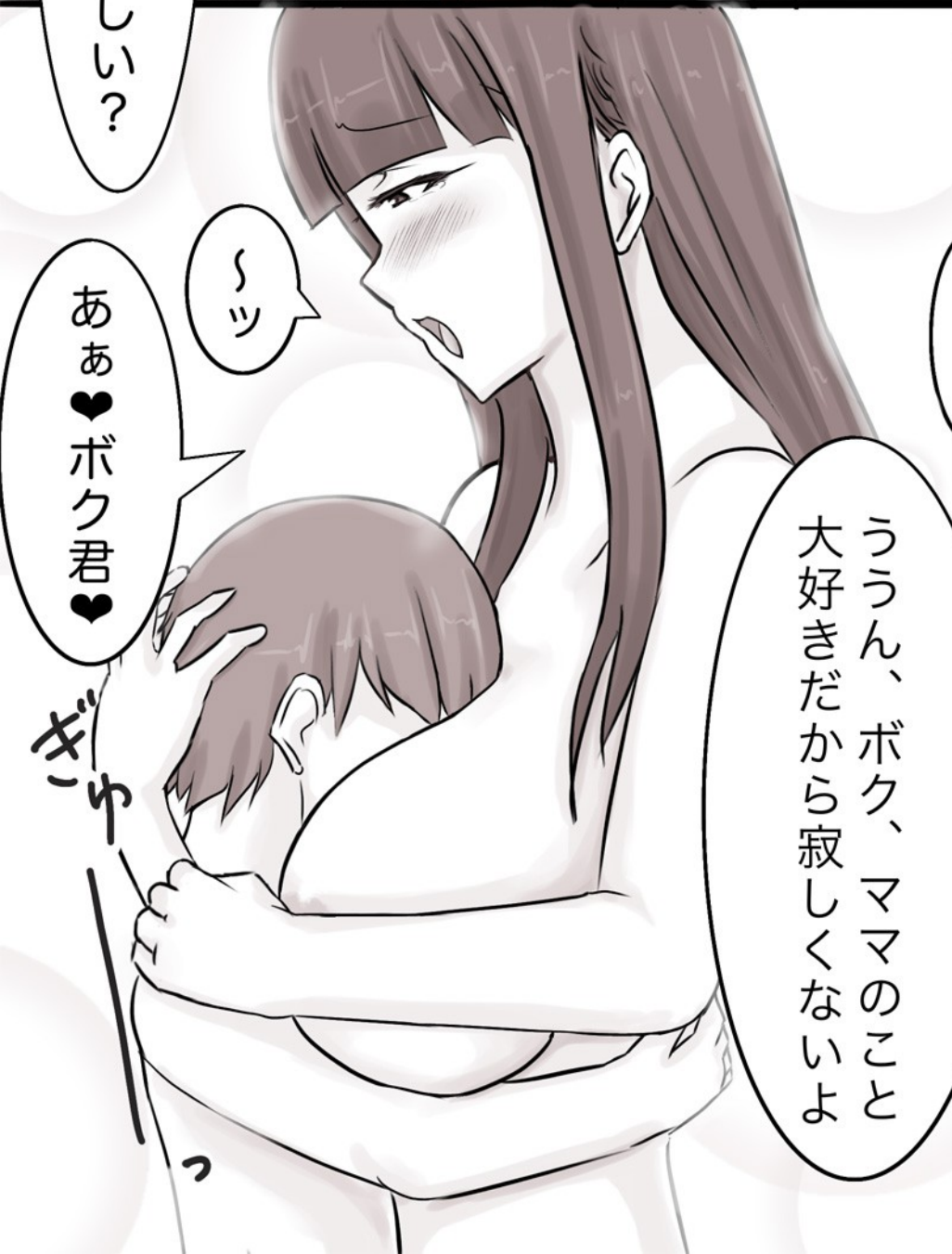
パパがいなくて寂しい？

なあにママ

…ねえ、ボク君



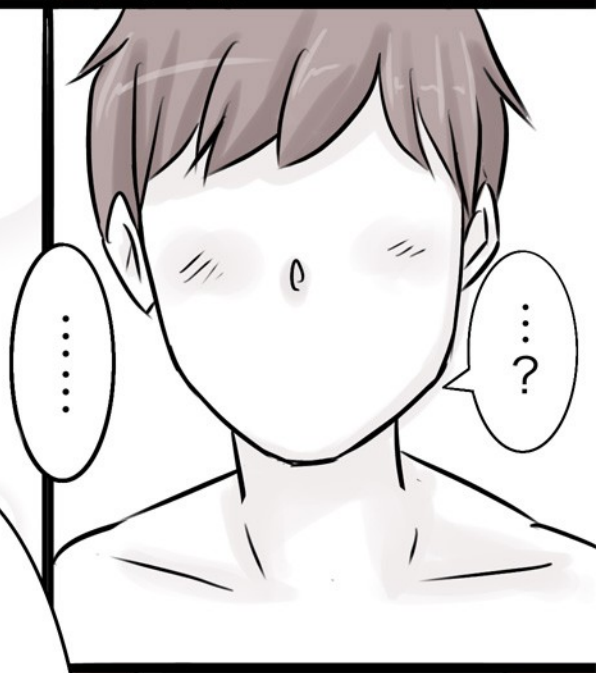
そっかボクお風呂場で…



ああ♥ボク君♥

ッ

ううん、ボク、ママのこと
大好きだから寂しくないよ



…？



…

ほらがんばって♡

しゅん、しゅん、しゅん、

あ…ああ…ツ

しゅん、しゅん、しゅん、

今日のママは
すごく激しい…ツ

ビクッ

ママまじっぴんぽんっ♡

あは、

待ってママ、まだゴムが…ツ

ビクッ

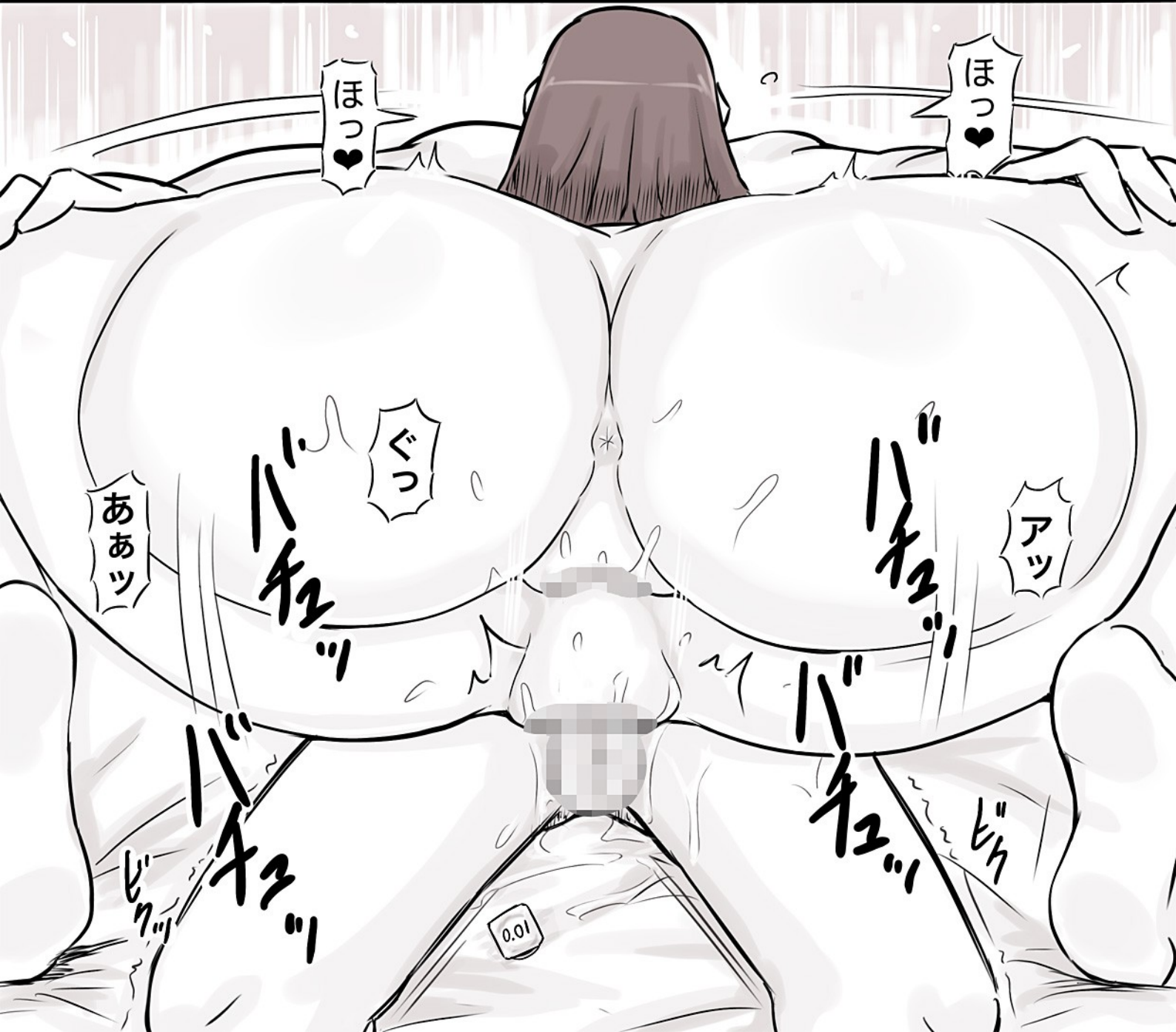
ヌキ

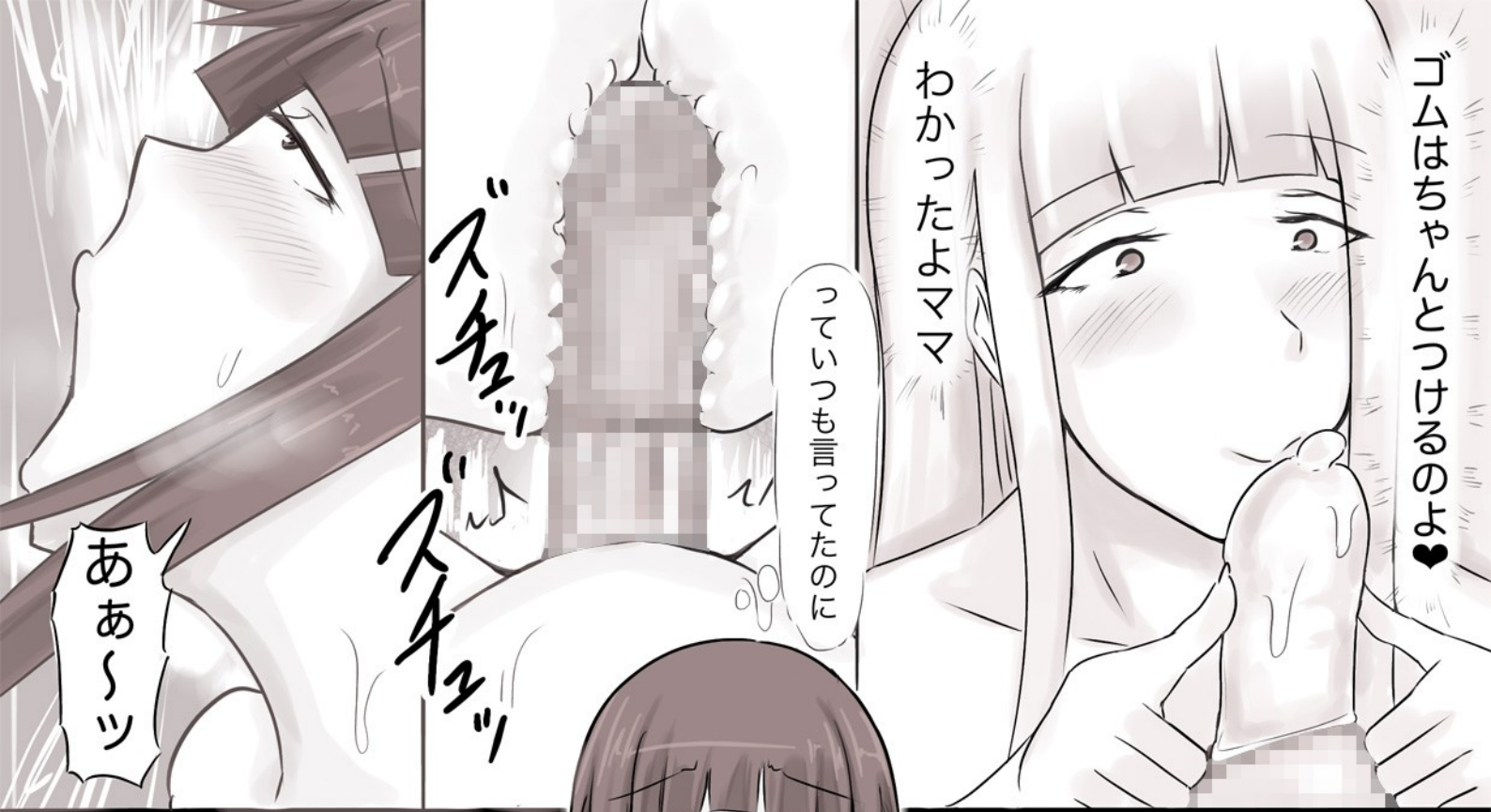
ヌキ

ボク君のおちんちん

ズポ。ズポ。

ズポッ





ゴムはちゃんとつけるのよ♥

わかったよママ

っていつも言ってたのに

スチュッ

スチュッ

ああッ



生で入ってるよママ!!

ああッ イイッ!

出さちゃん! 中で出さちゃん!!

イクツママイクツ!!

息子でイクツ!!

0.01



ボク…君？

はあはあ…

ゴムつけてなかったから
外に出さなきゃって…

それで、その

今日はいいの。
ママにいっぱい
中出しっつ♡

はあ

はあ、

いいのよ

ボク君の精液で
ママを孕ませてえ♡

ああ…ボク君は
なんて可愛い♡

うん…の？

ママ…ママ

んああああッ♡

ビクッ

ビクッ

ぬちゃっ

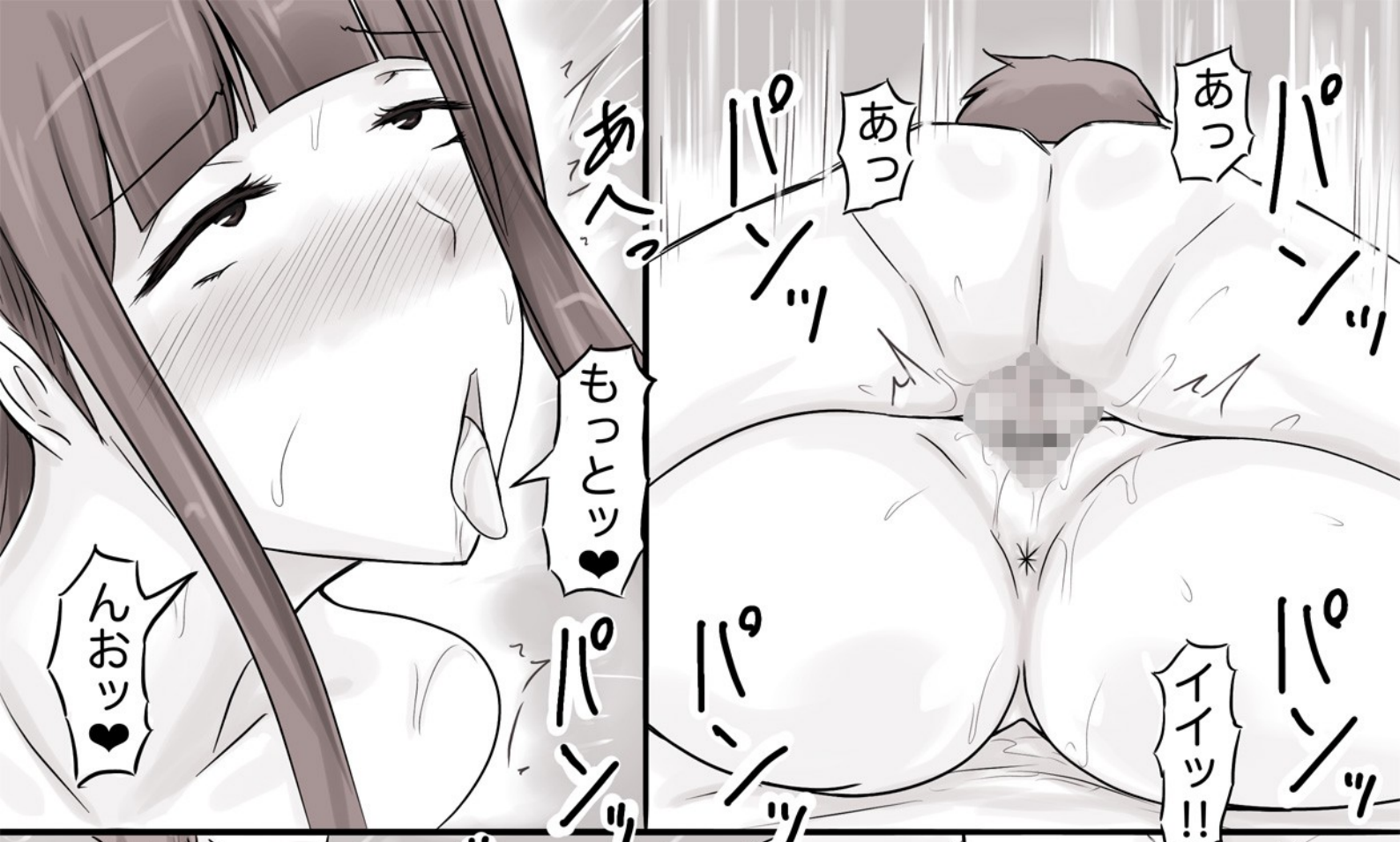
ぬちゃっ

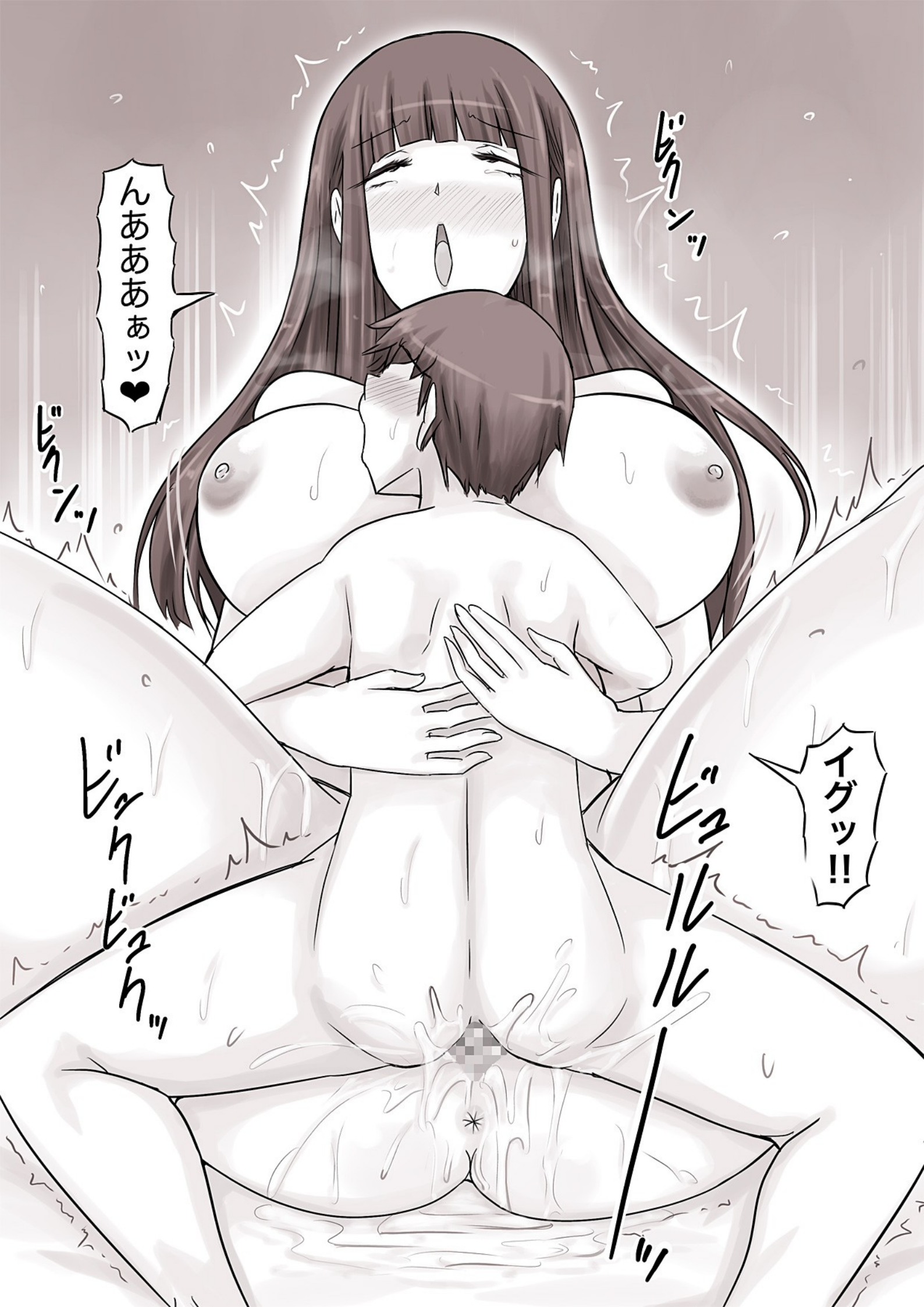
その言葉で
ボクは火がついた

ん…っ

ママ!!
愛してるッ!!

ズッ
ホッ
ホッ
ッ





んああああッ♥

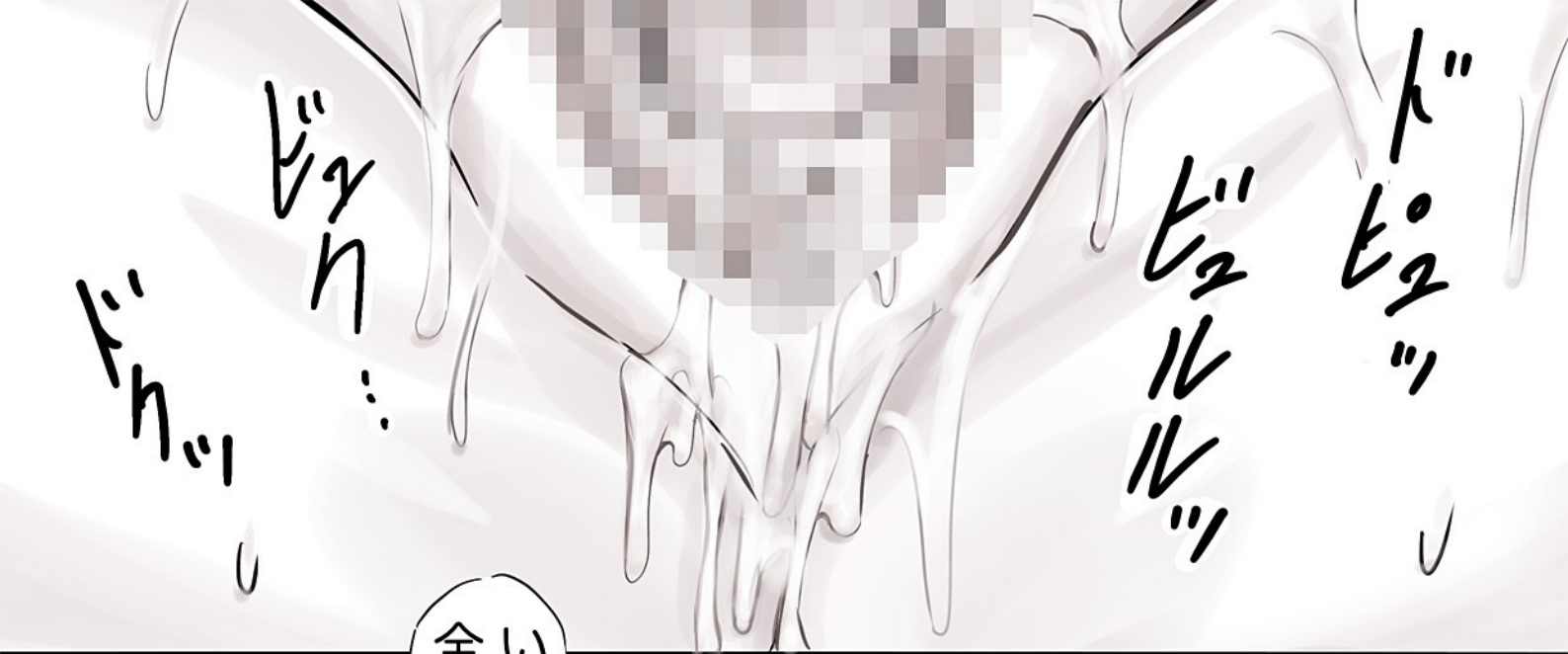
イグッ!!

ビクンッ

ビクンッ

ビクンッ

ッ

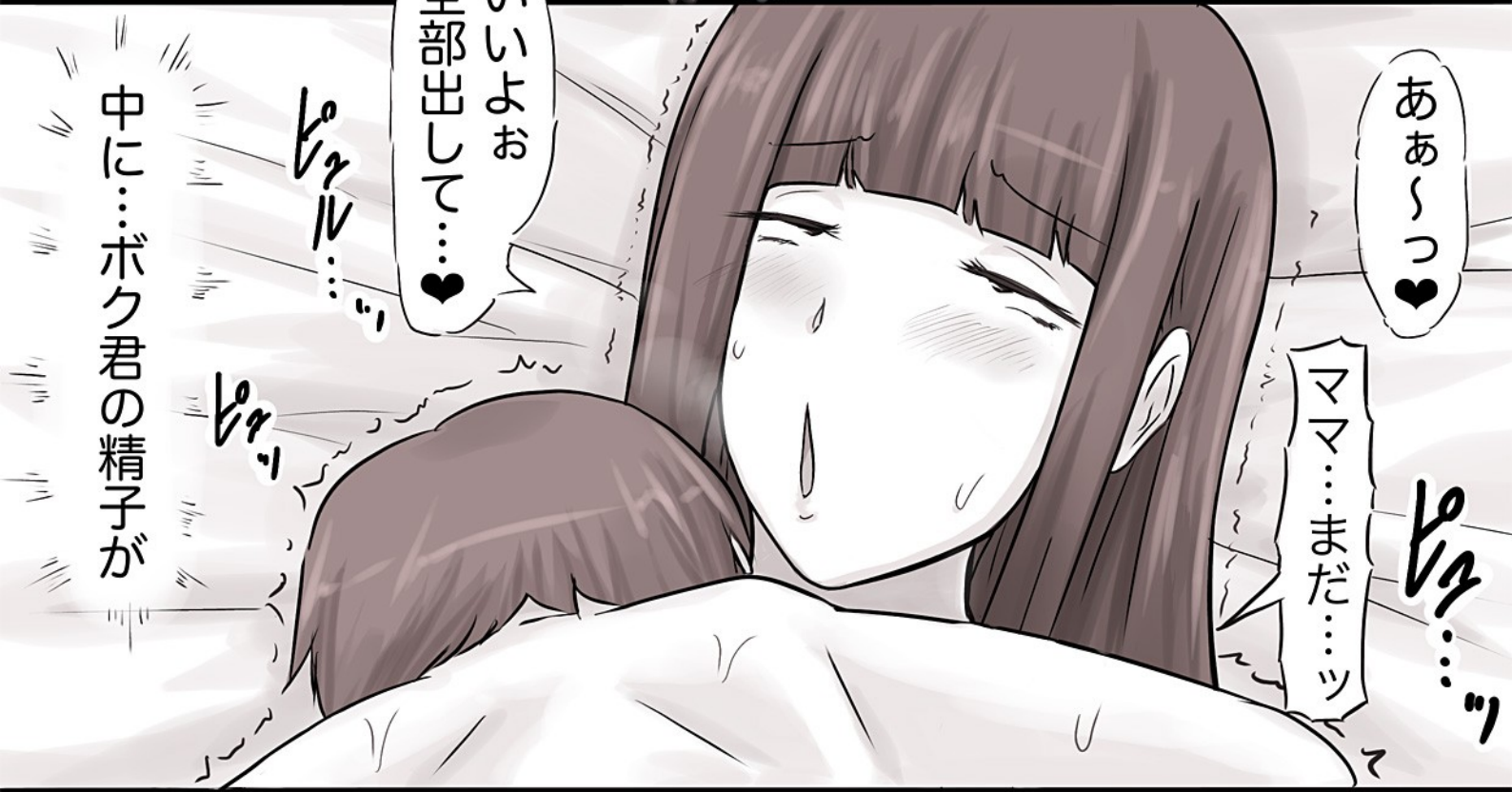


ド
ビョッ
ッ

ビョ
ル
ル
ッ

ビョ
ッ
ッ

ド
ッ
ッ



ああッ
ッ

ママ...まだ...ッ

ビョ
ッ
ッ

いいよお
全部出して...♡

ビョ
ッ
ッ

ビョ
ッ
ッ

中に...ボク君の精子が



っ
っ
っ
♡

ぎゅ
っ



ああっ♥

あっ

ズボッ
ズボッ
ズボッ

ズキッ
ズキッ
ズキッ

ズボッ
ズキッ
ズキッ



初めての生まんこ。
初めての生中出し。

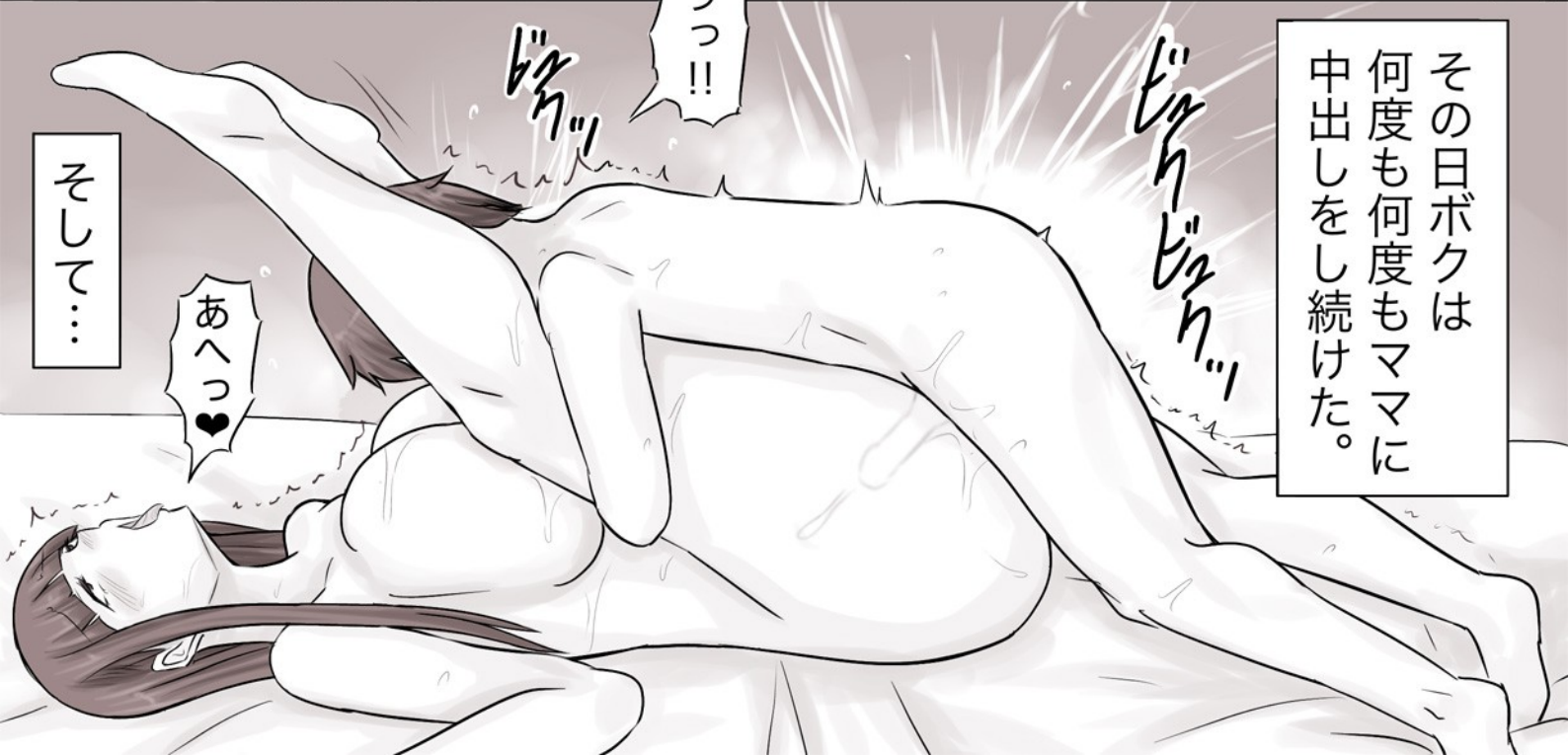
ママッ
また出すよ!!

ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

中に出してっ

ズボッ

うっ!!



その日ボクは
何度も何度もママに
中出しをし続けた。

ズキッ
ズキッ

ズキッ
ズキッ

そして...

あへっ♥

ママ…朝だよ…

…そうね

キュン

んほーっ

んほーっ

キュン

ボク、学校…行かなきゃ

ビク

…そうよね

すぐ帰ってくるから

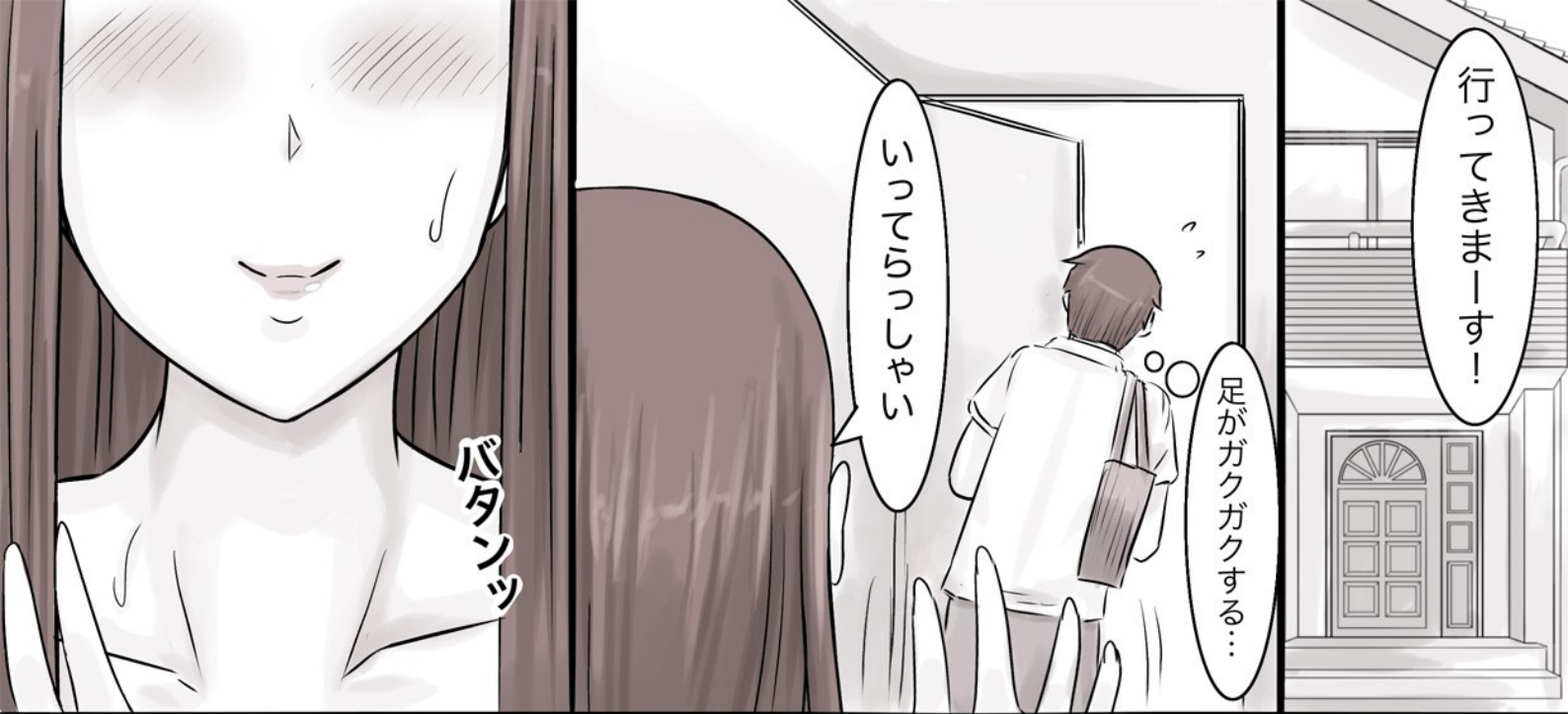
ビュル…

約束よ…っ

ビク…

うん、約束



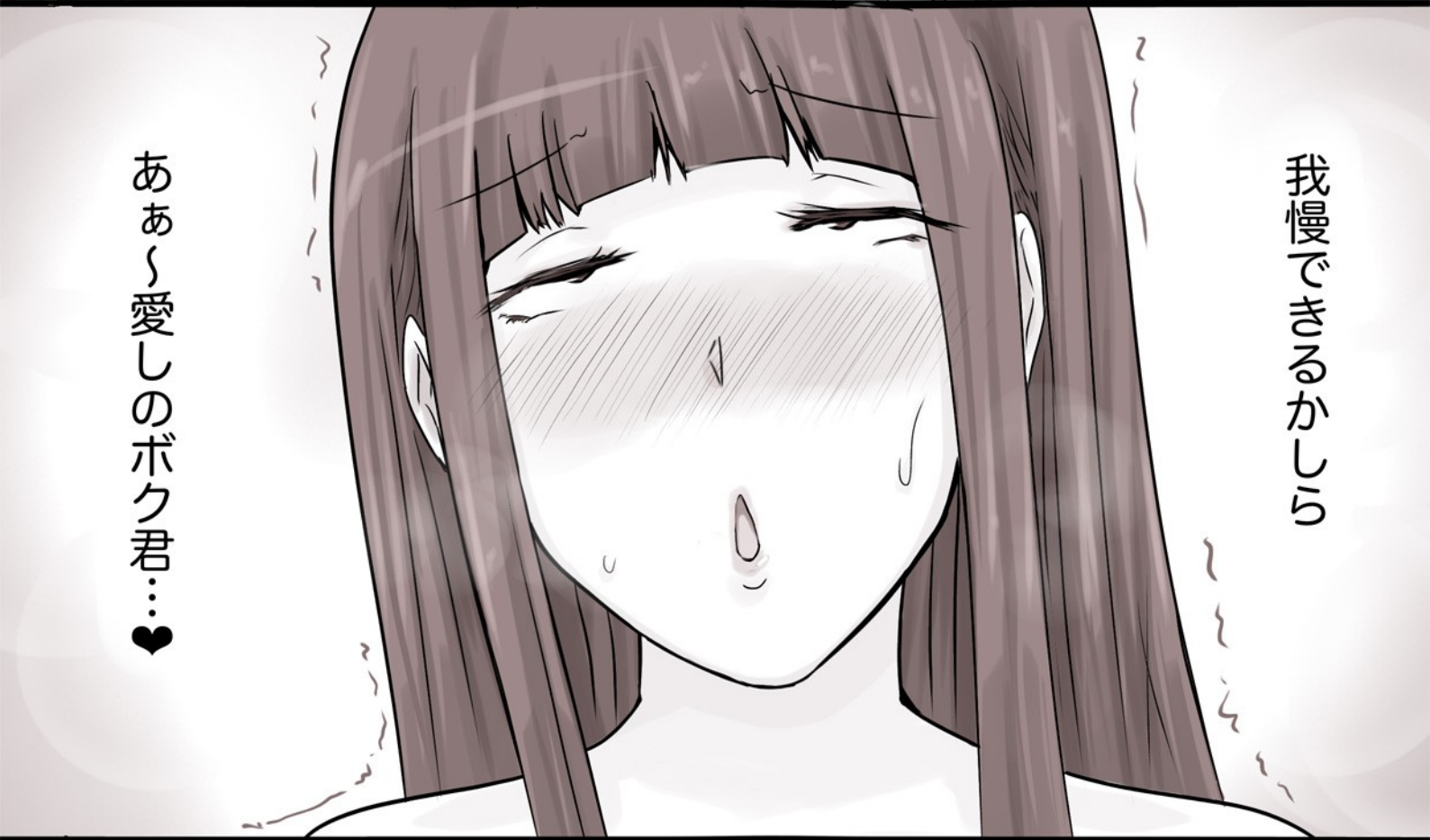


行ってきまーす！

足がガクガクする…

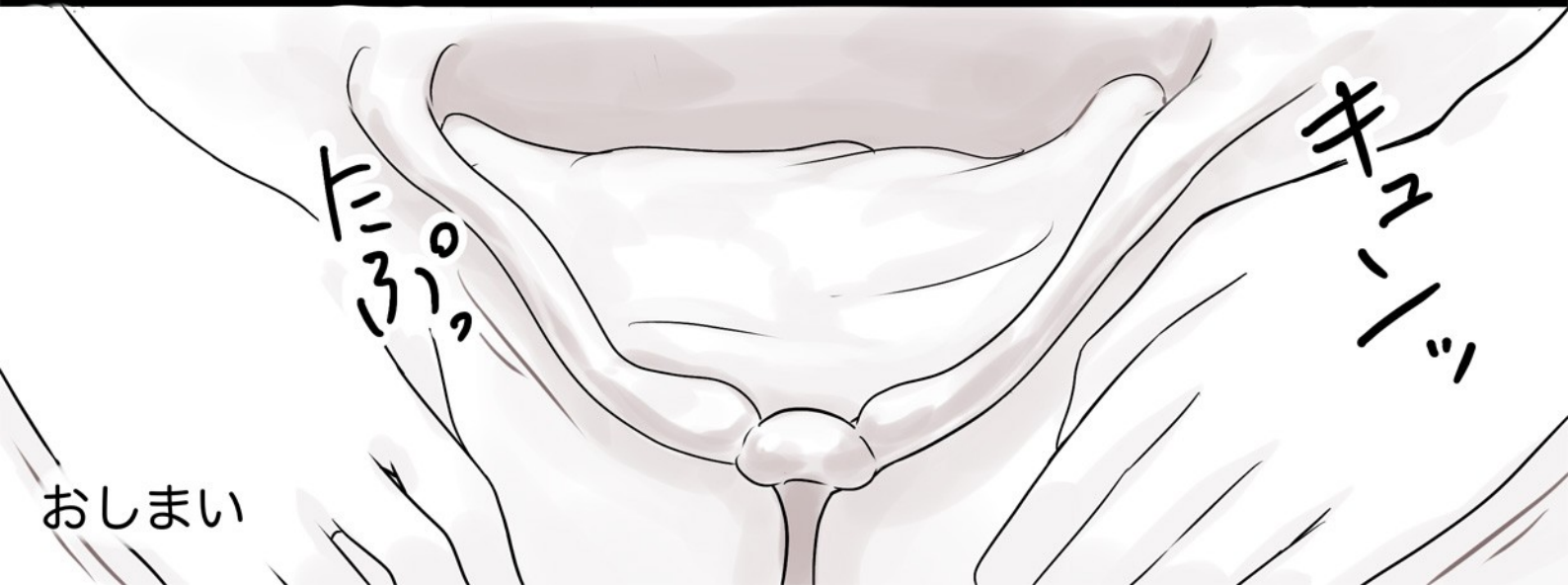
さよなら

ボタンッ



我慢できるかしら

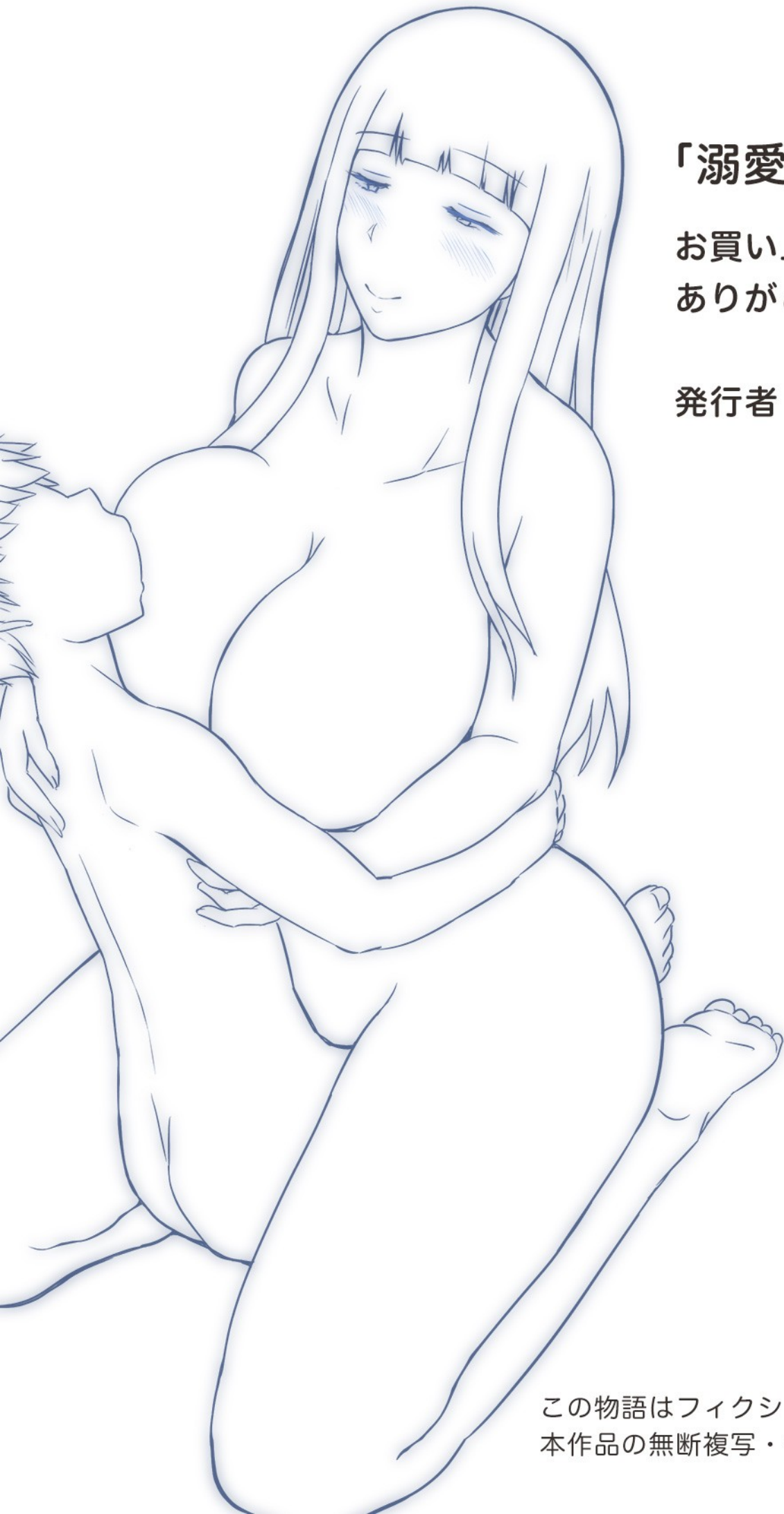
ああ、愛しのボク君…♡



キュッ

ト、ソ、ソ

おしまい



「溺愛ママとボク」

お買い上げいただき
ありがとうございます！

発行者：妄想ザンギ

この物語はフィクションです。
本作品の無断複写・複製・転載を禁じます。